

# 玉名市総合計画 後期基本計画進捗状況報告

(主要施策の概要に係る平成27年度末の進捗状況報告)

平成28年10月  
玉名市役所 企画経営課

後期基本計画に掲載されている事柄		平成28年度調査事項 (H27年度末の状況)							
1 便利で快適なまちづくり	1 道路交通体系の整備	1 広域交通ネットワークの整備	11111	五名バイパスは、今後、交通量を考慮しながら4車線化に向けた完全整備を促進していきます。	五名バイパスは、今後も交通量を考慮しながら4車線化に向けた完全整備を促進する。	6. 未着手	未着手の理由	平成23年3月の暫定2車線の将来交通量等を考慮しながら、事業着手については十分検討する必要があるため。	
			11121	今後も利便性の高いアクセス道路の整備に努めます。	新玉名駅や新幹線の利用者増加を図るため、県道・市道を含め利便性の高いアクセス道路の整備に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	新玉名駅への利便性向上のため、周辺道路の整備促進について、県道の五名立花線等の道路期成会の要望活動により、五名バイパス以南の具体的なルート案について決定し事業着手された。	
			11122	県道(仮称東西道路)については、早急に県道玉名八女線まで接続できるように県との連携を強化し、整備を促進していきます。	新玉名駅から県道玉名八女線にアクセスする県道(仮称東西道路)は、計画延長約950mのうち約500mを供用中、残りの450mも早期完成に向け促進する。	1. 達成(完了)	状況の説明	新玉名駅から県道玉名八女線にアクセスする県道(仮称東西道路)は、計画延長約950mが開通した。そのため達成した。	
			11131	利便性が高く持続可能な交通体系の構築を目指します。	平成24年度中に、地域公共交通総合連携計画を策定する。平成25年度以降は、当該計画に基づき公共交通の再編成を実施し、効率的で利便性が高い公共交通体系の構築を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	地域公共交通総合連携計画に基づき、「公共交通で実現させる便利で快適なまちづくり」の実現に向け、バス路線の運行効率化、公共交通不便地域の解消、既存公共交通の利便性向上、公共交通の利用促進に努めている。	
			11141	広域幹線道路である国道や県道については、事業の促進に向けた積極的な要望活動を展開します。	広域幹線道路である国道や県道は、事業の促進に向けた積極的な要望活動を展開する。	8. 評価不能	評価不能の理由	国道や県道などの道路整備に関する事業促進については、事業が多岐に亘るため、一概に評価することが難しいため。	
		11151	有明海沿岸道路(Ⅱ期)の熊本市～大牟田市間については、候補路線から「計画路線」への指定に向けた積極的な要望活動を展開します。	有明海沿岸道路(Ⅱ期)の「計画路線」への指定に向け要望活動を展開する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	大牟田市から長洲町までの区間が都市計画決定され、三池理1Cから荒尾競馬場跡地付近2.7kmの区間が事業着手された。		
		2 生活道路網の整備	11211	本市の都市計画に関する基本的な方針を示すため、『都市計画マスタープラン』を策定します。	計画期間(平成23～平成25年度)中において、都市計画区域再編後の新たな都市計画マスタープランを策定する。	1. 達成(完了)	状況の説明	計画期間(平成23～平成25年度)中において、都市計画区域再編後の新たな都市計画マスタープランを策定した。	
			11221	都市計画道路の整備は、平成19年度に見直した都市計画道路網の整備計画に沿って計画的、効率的に実施します。	都市計画道路の整備は、現在、66.14%の整備率である。残る未整備路線は、計画的・効率的に整備を進める。また、隣接市町を跨る路線の整備の可否について、関係市町と調整中であるため、平成28年度中に方向性を決定する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	都市計画道路20路線中13路線において、改良・概成済となっている。未備路線については、継続して計画的・効率的に整備促進を行っている。	
			11231	国道208号から市民会館を經由し温泉地区を結ぶ市道立願寺横町線は、平成24年度末の全線供用開始を目指して整備します。	市道立願寺横町線は、本市の中心市街地を形成する「玉名温泉地区」と「高瀬地区」を結び、沿線には国の合同庁舎、市民会館や新庁舎の建設予定地であり、施工延長585m(外1線含む)の整備を進める。	1. 達成(完了)	状況の説明	市道立願寺横町線は、本市の中心市街地を形成する「玉名温泉地区」と「高瀬地区」を結び、沿線には国の合同庁舎、市民会館や新庁舎の建設予定地などの公共施設が集積する重要な幹線道路であり、施工延長585m(外1線含む)の整備を進めた。	
			11241	平成27年度末全線供用開始を目標に市道位明玉名線を整備します。	市道位明玉名線は、国の予算削減に伴い完成目標年度が平成27年から平成30年に変更となる。関係機関とも協議を行いつつ一部工事も実施している。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成26年度に起地点である県道長洲玉名線との交差点を整備した。平成27年度に用地補償契約が概ね完了し一部道路改良区間の施工を開始した。平成28年度より路線橋詳細設計を発注し、JR協議を行う予定である。	
			11251	市道玉名駅平嶋線の整備を検討します。	市道玉名駅平嶋線は、五名バイパスと国道208号線の南北を結ぶ幹線道路として位置づけられる路線であり、平成23年度の五名新玉名駅の開業や五名バイパス開通による都市環境や交通環境の変化等も踏まえ、事業の必要性を検討する。	6. 未着手	未着手の理由	県が施行する境川改修計画の進捗状況を踏まえ、事業着手について必要性を検討する必要があるため。	
			11261	危険性が高いR路切の拡幅改良については、JR九州と協議のうえ、道路改良と一体的に推進します。	現在砂天神路切及び巖の神路切について、JRと協議を進め拡幅改良に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	小島橋から南部方面のアクセス道路でもあり、事業効果が高い砂天神路切からの事業を実施しており、平成26年度に国土交通省及びJRとの協議が完了した。平成27年度に補償契約が済み、路切より南側一部の施工が完了した。平成28年度から路切拡幅及び道路改良を施工予定である。	
			11271	生活道路網は、舗装、新設・改良、側溝改良などの計画的な整備を図り、市民の利便性の向上と安全の確保に努めます。	生活道路網は、舗装、新設・改良、側溝改良など、計画的に生活道路網の整備を図り、市民の利便性の向上と安全の確保に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	生活道路網は、舗装、新設・改良、側溝改良など、計画的に生活道路網の整備を図っており、市民の利便性の向上と安全の確保に努めている。	
			3 「15分構想」の推進	11311	市内交通のネットワークを整備し、「15分構想」を推進し、市内交通の利便性と定時性を確保に努めます。	市内交通の利便性と定時性を確保に資するための関連道路の整備や公共交通機関の充実に関する施策の推進に努める。	8. 評価不能	評価不能の理由	道路整備所管課において、市内道路の新設改良等が実施されているが、「15分構想」の推進との関連性が主たる担当課(企画経営課)では評価できない。
				11321	JR鹿児島本線より南部方面からの中心市街地への交通アクセス機能の向上を推進します。	部分的に道路改良等をおこない、JR鹿児島本線より南部方面からの中心市街地への交通アクセス機能の向上に向け事業を進める。	8. 評価不能	評価不能の理由	交通アクセス機能の向上には、都市計画道路や市道改良等の複数の事業により効果が図られるものであるため、評価が困難である。
11322	位明玉名線の整備は、関係機関の理解を得ながらその取組を推進します。			位明玉名線の整備は、国の予算削減に伴い完成目標年度が平成27年から平成30年に変更する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成26年度に起地点である県道長洲玉名線との交差点を整備した。平成27年度に用地補償契約が概ね完了し一部道路改良区間の施工を開始した。平成28年度より路線橋詳細設計を発注し、JR協議を行う予定である。		
2 公共交通の充実	1 新玉名駅周辺の整備	11323	南廻りバイパス(仮称)などの整備は、関係機関の理解を得ながらその取組を推進します。	都市の外環状の形成に資する南廻りバイパス(仮称)などの整備は、関係機関の理解を得ながら取組を推進する。	8. 未着手	未着手の理由	関係機関や地域住民意向などを踏まえ、事業の必要性を考慮しながら検討する必要があるため。		
		11331	市道小浜紫根木線の道路拡幅や砂天神路切の拡幅を図ります。	小島橋を利用する市民の利便性の向上に資するため、市道小浜紫根木線の道路拡幅や砂天神路切の拡幅を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	小島橋から南部方面のアクセス道路でもあり、事業効果が高い砂天神路切からの事業を実施しており、平成26年度に国土交通省及びJRとの協議が完了した。平成27年度に補償契約が済み、路切より南側一部の施工が完了した。平成28年度から路切拡幅及び道路改良を施工予定である。		
		11332	松木地区、六田地区のその他の道路改良に努めます。	小島橋を利用する市民の利便性の向上に資するため、松木地区、六田地区のその他の道路改良を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	現在、松木地区の側溝を含めた道路改良工事を行っている。		
12111	駅前広場を除く新玉名駅周辺整備構想区域(35.6ha)において、開発における諸手続きやインフラ整備などを市が支援することで民間活力による開発を誘導します。	新玉名駅周辺整備構想区域に進出しようとする事業者があった場合は、庁内関係課と連携して開発の実現を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	民間事業者から具体的な開発の相談があった際には、庁内関係課と情報共有している。また、事業者との調整が必要な案件に関しては、事業者と庁内関係課との連絡調整の場を設けている。				

後期基本計画に掲載されている事項			平成28年度調査事項 (H27年度末の状況)										
2	バス路線網の整備	12112	新玉名駅周辺の開発については、周囲の田園風景との調和にも配慮した景観の形成に努めます。	新玉名駅周辺整備構想区域に進出しようとする事業者があった場合は、周辺の景観との調和に配慮するよう事業者に要請する。	8. 評価不能	状況の説明	平成28年3月末に玉名市景観条例が施行し、景観行政団体への移行が予定されている。並行して「玉名市景観計画」の策定が進んでおり、同計画の中で新玉名駅周辺は周囲の田園風景との調和が図られるよう、一般区域よりも強い独自の景観形成基準を定めた「景観形成推進地区」と位置づけられる予定である。						
		12113	新玉名駅の駐車場は、目的に沿った利用の指導や、規模の再検討も視野に入れた有効策の実施に努めます。	新玉名駅の駐車場は、目的に沿った利用の指導に努めるとともに、規模の再検討も視野に入れた有効策の実施に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	利用状況調査に基づき、駐車場の拡張について検討した。						
		12211	路線バスの運行や利用の状況、地域住民の意向調査など地域交通の実態把握に努めます。	平成24年度中に、路線バスを含む市内公共交通の実態や利用状況等について、事業者や利用者へのアンケート調査を実施し、地域公共交通総合連携計画を策定する。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成25年3月に「玉名市地域東京交通総合連携計画」を策定し、同計画に基づき関係機関と連携しながら事業を実施中。						
		12212	今後の人口構造や社会構造の変化なども踏まえた地域公共交通のあり方を検討します。	今後の公共交通のあり方を示した地域公共交通総合連携計画を平成24年度に策定する。非効率なバス路線の見直し、交通空白地域の解消、わかりやすいバス路線の実現などを計画期間中(平成29年度まで)に行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	市中心部におけるわかりやすいバス路線への再編及び需要が見込める交通空白地域の解消を図るための市内循環バスの運行を平成28年度中に実施することを、玉名市地域公共交通会議で確認した。						
		12213	交通空白地域の解消を図りながら、財政負担にも配慮した持続可能な交通体系の構築を目指します。	平成24年度に地域公共交通総合連携計画を策定し、同計画に基づき交通空白地域の解消を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成25年3月に「玉名市地域東京交通総合連携計画」を策定。交通空白地域のうち、一定の需要が見込める地域については平成28年度中に循環バスの導入で解消するが、交通不便地域への公共交通の導入については未着手である。						
	3	魅力ある住環境の整備	1	定住化などの推進	13111	優良な民間企業の住宅開発の誘導に努めます。	民間の住宅開発が行われるよう、行政としてできることは何かを検討する。	6. 未着手	未着手の理由	優良な民間企業の住宅開発の誘導に対する優先度が低かったため。			
			2	『玉名市スマイル構想』(定住化基本構想)に掲げる施策の実現に努めます。	関係機関との調整や働きかけ等により、構想に掲げた施策の実現を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	スマイル構想における主な施策の中で、新幹線通勤定期券補助、二次交通の強化、玉名ブランドの構築や観光振興、定住相談会、住宅所得補助金など複数の事業を実施した。なお、同構想は平成27年度を最終の終期に設定。					
			3	公営住宅の整備	13211	公営住宅の建設や老朽化が著しい既設公営住宅などの改修は、『玉名市公営住宅等長寿命化計画』に沿って計画的に実施します。	公営住宅等ストックの適切なマネジメントを行い、団地別・住棟別の活用方法を定め、安全で快適な住まいを確保するため長寿命化計画に沿って計画的に実施する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	公営住宅の安全で快適なストック確保のため、『玉名市公営住宅等長寿命化計画』に沿って、ストック総合改善事業により職室団地の給排水管・電気設備改修工事や職室、与内道、東原団地の外壁改修工事等を実施した。(計14棟、事業費99,800千円)			
	4	公園・緑地等の整備	1	公園・緑地の整備	14111	現在(H23年度の緑地水準を維持し、適切な公園管理を実施します。	現在の緑地水準を維持し、公園、緑地を憩いの場として、安全・安心に利用できるように日常の管理や遊具施設の修繕などを行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	都市公園・緑地を安全安心に利用出来るよう維持管理を行い、また、職員による定期的な点検により修繕・更新を行っている。			
					14121	総合公園と運動公園は、地域住民の憩いの場、レクリエーション、コミュニティ活動や災害時の広域避難場所として位置づけ計画的な整備を図ります。	総合公園と運動公園は、地域住民の憩いの場、レクリエーション、コミュニティ活動ができるように公園管理を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	蛇ヶ谷公園と桃田運動公園については、シルバー人材にて委託管理を行っている。			
14131					老朽化した公園は再整備を図ります。	市民の憩いの場となる公園は、平成21年度から25年度までの5ヶ年計画で安全・安心に利用できる公園を目標に改築更新を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	公園再整備事業では、1期(平成21年度～25年度)は完了した。引き続き、2期(平成26年度～30年度)に入り、再整備を図っている。				
14132					地域住民による公園管理も支援します。	広く市民の方に利用されている都市公園を地域住民による環境美化を委託し公園管理を支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	都市公園・緑地(38箇所)については、地域住民による維持管理を実施している。				
2					「花の都玉名」づくりの推進	14211	玉名21の星事業を推進し、これを継承していく人材の育成を支援します。(※花づくりによるまちづくりに限る)	花づくりを実施するまちづくり委員会に対して、可能な支援を実施する。21の星事業が終了する平成26年度以降について、地域づくり団体を支援する新たな施策を検討する。	1. 達成(完了)	状況の説明	玉名21の星事業が完了した後に創設した「キラリかがやけ玉名づくり応援事業補助金」を活用して、平成27年度は2団体で地域の花づくりを実施した。		
14212			小・中学校や各種団体による「花の都玉名」づくりを推進し、これを継承していく人材の育成を支援します。	「花の都玉名」を目指し各校区まちづくり委員会や小・中学校を中心とした花づくり活動を支援する。	3. 進行中(前半)	状況の説明	花の拠点づくり事業では、より多くの団体に当該事業の活用を図るため、事業周知の改善や要件の緩和、助成内容の抜本的な見直しを行った。						
5			まちなみの景観形成	1	都市景観の形成	15111	中心市街地においては、建物や商業施設の形態、色彩、看板などについて、景観形成基準の設定も視野に入れ、調和のとれた統一感のあるまちなみ景観の形成を推進します。	都市景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	「玉名市景観条例」を制定し、景観計画策定委員会を経て「玉名市景観計画(素案)」を取りまとめた。平成28年6月に景観行政団体へ移行し、景観条例が施行される。		
						2	自然景観の形成	15211	菊池川をはじめとする河川や山並みの景観形成は、自然の風景を十分に配慮した修景整備を実施し、都市の潤い空間として自然景観が阻害されないよう保全を図ります。	自然景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	「玉名市景観条例」を制定し、景観計画策定委員会を経て「玉名市景観計画(素案)」を取りまとめた。平成28年6月に景観行政団体へ移行し、景観条例が施行される。
								3	「美しい景観都市玉名」の実現	15311	行政とまちづくり団体が連携して豊かな景観形成を推進します。	行政とまちづくり団体が連携して豊かな景観形成を推進するため、都市景観や自然景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	4. 進行中(前半)
				15312	地域の景観は地域で守り育てるという市民意識の高揚に努め、「美しい景観都市玉名」の実現を目指す。	地域の景観は地域で守り育てるという市民意識の高揚に努め、「美しい景観都市玉名」の実現を目指すため、都市景観や自然景観の形成に向けて、景観行政団体への移行を視野に入れた「景観のよいまちづくり」を推進し、併せてめざすべき景観行政の将来像を検討する。	4. 進行中(前半)			状況の説明	「玉名市景観条例」を制定し、景観計画策定委員会を経て「玉名市景観計画(素案)」を取りまとめた。平成28年6月に景観行政団体へ移行し、景観条例が施行される。		

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H27年度末の状況)						
6 情報・通信 基盤の整備	1 情報基盤・通信ネットワークの整備	16111	市光ファイバー網幹線の電線共同溝への入溝などによる災害や事故に備えます。	国土交通省施工の電線共同溝工事(通信分)が平成24年度末にて完了し、本市移設を平成24.4.28～4.30にてL=約1,575mの共同溝への敷設、電柱へ添架している光ケーブル撤去を行う。	1. 達成 (完了)	状況の説明	国土交通省施工の電線共同溝工事(通信分)が平成24年度末にて完了し、本市移設を平成24.4.28～4.30にてL=約1,575mの共同溝への敷設、電柱へ添架している光ケーブル撤去を行った。			
		16112	万が一の場合にも業務への影響がないようバックアップ回線を設置します。	本市ネットワークは、自設光ファイバケーブルにより本庁・各支所・外局施設を接続している。災害・事故等により光ファイバの断線により市民サービス及び業務停止が無いよう、通信事業者が提供している通信網をバックアップ回線として利用することにより業務継続を目的とし整備を行う。	1. 達成 (完了)	状況の説明	本市ネットワークは、自設光ファイバケーブルにより本庁・各支所・外局施設を接続している。災害・事故等により光ファイバの断線により市民サービス及び業務停止が無いよう、通信事業者が提供している通信網をバックアップ回線として利用することにより業務継続を目的とし整備を行った。			
		16121	外部ネットワークとの接続に際し、ファイアウォールなどによる不正侵入などの防止を図ります。	外部(インターネット)から内部(市ネットワーク)への不正侵入等による盗み見・改ざん・破壊を防止することにより、内部ネットワークの安全を維持する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	外部(インターネット)からの脅威を防ぐため、ファイアウォール並びにウイルスゲートの設置・設定を行い不正侵入等の防止を行った。			
		16122	職員への市セキュリティポリシーの周知徹底を実施し情報漏えいなどインシデント防止を図ります。	情報セキュリティを改善する脅威や対策は常に変化している。匿名市セキュリティ委員会を開催し、職員研修及び情報セキュリティ監査の計画、実施、報告を行い、PDCAサイクルによる強固なセキュリティ対策に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	市情報セキュリティポリシーの見直し、市情報セキュリティ委員会の開催、職員並びに全庁職員等へのセキュリティ研修の実施を行った。			
		16131	サーバ機器保守期限となる平成27年度に予定するシステムの更新のため、平成25年度をめぐりに再評価を実施し更新に備えます。	サーバ機器保守期限となる平成27年度システム更新に向けて、既存システムの再評価を行い、次期システムを検討し平成27年度までに次期システム、サーバ機器導入を図る。	1. 達成 (完了)	状況の説明	平成27年度に保守期限が到来する基幹業務システムのサーバ機器等の更新を行った。			
		16132	アプリケーションソフトなどを充実(各種行政システムの導入)することにより、情報サービスの充実を図ります。	各電算システムのバックアップ、改修、業者作業管理、障害対応、原簿からの電算システム使用に関する問い合わせ対応、必要な資料の作成、システム権限の付与等を行い情報システム運用の充実を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	平成27年度は、電算システムの保守管理を行い、システム及びサーバ機器の定期的な保守点検を実施した。また、障害発生時の早急な対応や原簿からの質疑事項、資料作成等の対応を行い情報システム運用の充実を図った。			
2 人と自然 にやさしい環境の まちづくり	1 自然環境の 保全	1 地下水の 保全	21111	県と連携した地下水採取量調査や地下水定期モニタリング水質検査を実施します。	県が実施する地下水採取量調査や地下水水質検査に係る対象者への文書発送、連絡調整、調査票の回収等を毎年行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	県が実施する地下水採取量調査や地下水水質検査に係る対象者への文書発送、連絡調整、調査票の回収等を毎年行う。		
			21112	地下水の汚染防止と保全対策を推進します。	熊本県有明保健所が毎年行われる、市内17箇所の地下水水質調査に協力する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	熊本県有明保健所が毎年行われる、市内17箇所の地下水水質調査に協力する。		
		2 河川環境の 保全	1 河川環境の 保全	21211	菊池川流域同盟の活動について、水質調査、清掃事業、水検隊事業のほか、「菊池川の日」の制定意義を内外にアピールします。	毎年、「菊池川の日」事業等の河川環境啓発を行い、菊池川流域同盟加入9市町においていっせいに河川水質検査において水質の改善を目指す。	4. 進行中(前半)	状況の説明	毎年、「菊池川の日」事業等の河川環境啓発を行い、菊池川流域同盟加入9市町においていっせいに河川水質検査において水質の改善を目指す。	
				21212	廃油石けん作りコンテストや子どもへの環境学習を取り入れたイベントなどを積極的に実施し、市民の水質浄化意識の向上に努めています。	菊池川流域同盟の「菊池川の日」事業において積極的に廃油石けんや河川水質に関する展示を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	菊池川流域同盟の「菊池川の日」事業において積極的に廃油石けんや河川水質に関する展示を行う。	
			2 河川環境の 保全	21221	菊池川流域同盟の環境保全活動を核とする「環境の先進地、環境立都 玉名」をインターネットなどメディアを通じ、全面で情報発信します。	広報やインターネット等のメディアを通じ情報を発信する今後提供する情報の種類を増加させる。	4. 進行中(前半)	状況の説明	広報やインターネット等のメディアを通じ情報を発信する今後提供する情報の種類を増加させる。	
				21231	市民へ生活排水路の定期的な清掃を促進し浄化機能や美観を維持保全することで、河川の環境保全を推進します。	排水路に限らず区役所のボランティア活動にて清掃活動をする場合には、ボランティア袋の提供などを行い環境保全に役立てる。	4. 進行中(前半)	状況の説明	排水路に限らず区役所のボランティア活動にて清掃活動をする場合には、ボランティア袋の提供などを行い環境保全に役立てる。	
	3 森林環境の 保全	1 森林環境の 保全	21311	森林は、景観保全、地下水かん養などの面から開発との調和を図りながら自然環境の保全に努めます。	水源かん養、生物多様性保全など重視すべき森林の機能に応じた森林整備を図るため、玉名市森林整備計画に基づき保安林の指定やその適切な管理により自然環境の保全を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	山砂採取、太陽光発電施設設置などの林地開発が見受けられる。それが、玉名市森林整備計画に適合するかを見極めながら、自然環境の保全と開発の調和を図るとともに、無届採切及び伐採がないかの巡回指導を実施している。		
			4 「環境の先進地、環境立都 玉名」の 推進	21411	様々な公害に対する情報把握に努めるとともに、市民の不安を解消し、苦情などの処理には迅速に対応します。	快適な市民生活を脅かす様々な公害の苦情申立てがあった場合、速やかに情報収集に努め、迅速に対応し、市民不安の解消に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	快適な市民生活を脅かす様々な公害の苦情申立てがあった場合、速やかに情報収集に努め、迅速に対応し、市民不安の解消に努める。	
				21421	環境の保全や創造について基本理念を定めます。	環境の保全や創造について基本理念を定めるため、平成26年4月1日施行を目標に「環境基本条例(仮称)」を制定する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	環境の保全や創造について基本理念を定めるため、平成26年4月1日施行を目標に「環境基本条例(仮称)」を制定する。	
			2 環境保全 への意識 啓発	1 環境保全 活動の意識 啓発の 推進	21422	市民一人ひとりの環境美化に対する意識を高めるための環境基本条例(仮称)の制定に努めます。	市民一人ひとりの環境美化に対する意識を高めるため、玉名市環境美化に関する条例を制定する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	市民一人ひとりの環境美化に対する意識を高めるため、玉名市環境美化に関する条例を制定する。
					2 環境保全 活動の 支援	1 環境保全 活動の 推進	22111	地域や学校への環境学習の出前講座を実施します。	市民一人ひとりの環境保全意識を高めることが快適な生活環境の確保につながるため、環境学習講座を年1回以上行う。	4. 進行中(前半)
			22112	家庭などにおけるグリーン購入やリサイクル活動の推進を通じて環境保全意識の向上に努めます。			家庭などにおけるグリーン購入やリサイクル活動の推進を通じて環境保全意識の向上のため、ホームページ等で啓発を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	家庭などにおけるグリーン購入やリサイクル活動の推進を通じて環境保全意識の向上のため、ホームページ等で啓発を行う。
22121	保育所や幼稚園、小・中学校での環境学習やリサイクル活動、環境美化活動を推進します。	保育所や幼稚園、小・中学校での環境学習やリサイクル活動、環境美化活動を推進するため、環境学習に有用な情報の提供及び環境学習を実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明		保育所や幼稚園、小・中学校での環境学習やリサイクル活動、環境美化活動を推進するため、環境学習に有用な情報の提供及び環境学習を実施する。				
2 環境保全 活動の 支援	1 環境保全 活動の 推進	22131	ISO14001やエコアクション21などの企業の環境活動に対する意識の啓発を推進します。	企業の環境活動に対する意識の啓発を推進するため、平成26年度中にホームページ等で啓発を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	玉名市環境基本計画に基づき環境行動指針取り組み状況自己チェックリストについてホームページ等で周知し市民、事業者に対して提出を促した。			
		22211	ホームページなど情報サービス機能を活用し、市民グループやNPOなどの環境保全推進団体の活動実績を紹介しします。	自主的団体が環境活動の推進母体となり得るよう、随時、市広報、ホームページ等で紹介を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	自主的団体が環境活動の推進母体となり得るよう、随時、市広報、ホームページ等で紹介を行う。			

後期基本計画に掲載されている事柄			平成28年度調査事項 (H27年度末の状況)					
			22212	団体の新規結成や既存団体の活動を支援します。	自主的団体が環境活動の推進母体となり得るよう、現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	自主的団体が環境活動の推進母体となり得るよう、現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。
			22213	自主的団体が環境活動の推進母体となり得るよう支援します。	現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。
			22221	エコ活動を行う事業者や市民団体などへの支援を継続します。	エコ活動への関心、参画の拡大に努めるため、現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	エコ活動への関心、参画の拡大に努めるため、現在活動されている団体に対して協力及び補助金の交付等を行い、その活動を支援する。
			22222	定期的に広報紙などで(エコ活動を行う事業者や市民団体などの)活動状況を広く周知し、エコ活動への関心、参画の拡大に努めます。	エコ活動への関心、参画の拡大に努めるため、定期的に広報紙等で紹介記事等を掲載する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	玉名市環境基本計画に基づき環境行動指針取り組み状況自己チェックリストについてホームページ等で周知し市民、事業者に対して提出を促した。
3 新エネルギーの導入	1 新エネルギー導入の推進	23111	公共事業関連での新エネルギー導入は、関係課と連携し、環境に配慮した機材や施工方法を用いるよう意識啓発に努めます。	新エネルギーやCO2排出量削減を目的とした機器について情報の提供を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	新エネルギーやCO2排出量削減を目的とした機器について情報の提供を行う。	
		23121	住宅用の太陽光発電機設置に対する支援を設置世帯数で年間200軒前後の純増を目標として引き続き実施します。	太陽光発電システム設置に対し、年間約200件の補助を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	太陽光発電システム設置に対し、年間約200件の補助を行う。	
	2 省エネルギーの推進	23211	公用車の買い替えの際には、ハイブリッド自動車などの導入を積極的に検討し、可能な限り実施します。	合併後、市長車をはじめ3台のハイブリッド自動車を導入し、現在も利用中である。今後の全体的な公用車の管理について、平成25年度中を目前に公用車適正配置計画(仮称)を策定し、適正台数の確保と管理を進め、買い替えの際にはハイブリッド自動車などのエコカー導入を検討する。	2. 概ね達成	状況の説明	公用車適正配置計画に基づき、老朽化の激しかった軽1台(走行距離91,000km、H11年購入)を廃車し、実用性が高く低燃費の軽バン1台を購入した。	
		24111	上水道事業は、年次整備計画に基づき未普及地域の解消、老朽化した施設や配水管の更新を計画的に推進します。	上水道事業は、未普及地域の整備及び老朽化した施設、配水管等の更新を行う。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	未普及地域の整備及び老朽化した配水管等の更新は予算内で執行を行っている。老朽化した施設の更新については、H28年度に配水池耐震診断調査を行い、その結果を踏まえ更新計画を策定する予定である。	
4 上水道・下水道の整備促進	1 上水道などの整備	24112	上水道事業は、運転管理や維持管理体制の効率化を目指す。	上水道事業は、運転管理や維持管理体制の効率化を目指すため、運転管理を平成23年度より複数年契約、維持管理は単年度契約で実施する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	運転管理の契約は2期目(H26~28)、維持管理は単年度契約で実施している。	
		24121	配水池やポンプ室などの基幹構造物や管路の耐震補強や更新を進めます。	新設及び更新工事の管路は、耐震管を採用していく。また老朽化した施設もあり、基幹構造物の耐震補強計画は未策定であるため、早い段階で計画し財政面も考慮しながら事業を実施していく。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	新設及び更新工事の管路は、耐震管を採用している。また老朽化した施設は、H28年度に配水池耐震診断調査を行い、それ以外は今後調査する予定である。	
		24122	災害時の応急給水拠点を整備するための『拠点設置計画』などの策定に努めます。	災害時の対応は、「玉名市地域防災計画」に基づき実施するため、『拠点設置計画』は策定しない。	7. 計画中止	計画中止の理由	災害時の対応は、「玉名市地域防災計画」に基づき実施するため、『拠点設置計画』は策定しない。	
		24131	簡易水道事業は、配水管の更新時期も迎えているため、総合計画書に基づき施設や配水管の更新を推進します。	簡易水道等施設整備費(生活基盤近代化事業 補助率1/3)により計画期間中(平成23~平成27年度)、天水東地区の老朽化した施設及び配水管の更新を実施する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	簡易水道事業は、H27年度をもって事業完了しており、H28年度には上水道事業への統合予定である。	
		24211	公共下水道事業は、今後も更に計画区域内の認可拡張を実施し、早期完了を目指す。	公共下水道事業は、平成28年度の処理区域内人口33,400人を目標とし、今後も全体計画区域内の認可を拡張し、未整備地区の早期完了を目指す。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	平成27年度は既認可区域の整備を行った。今後も全体計画区域内の認可を拡張し、未整備地区の早期完了を目指す。	
		24212	公共下水道事業は、要望の高い未整備地区の新規着手に努めます。	公共下水道全体計画区域外の未整備地区については、平成25年度に玉名市生活排水処理施設整備構想の見直しを行い、個人設置型浄化槽による整備手法に決定したため、公共下水道事業では整備を行わない。	7. 計画中止	計画中止の理由	公共下水道全体計画区域外の未整備地区については、平成25年度に玉名市生活排水処理施設整備構想の見直しを行い、個人設置型浄化槽による整備手法に決定したため、公共下水道事業では整備を行わない。	
	2 下水道などの整備	24221	玉名市浄化センターの機械や電気設備の改修を進めることにより施設の長寿命化を図ります。	玉名市浄化センターの長寿命化として、機械、電気設備の更新を図る。平成25から平成29を予定。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	長寿命化計画に基づき計画的に改修更新を行っている。劣化が激しいものについては適宜計画の変更をしながら進めている。	
		24222	玉名市浄化センターの経営においては補助制度を活用し建設投資や維持管理の一層の効率化に努めます。	玉名市浄化センターの長寿命化は、補助制度を最大限活用し、該当しない設備は単独による修繕を行う。また、維持管理の効率化にも努める。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	長寿命化計画に基づき計画的に改修更新を行っている。劣化が激しいものについては適宜計画の変更をしながら進めている。	
		24231	菊池川左岸(豊水、伊倉、八喜の一部)の下水道は、地域の意見などを踏まえ整備手法など検討を引き続き実施します。	菊池川左岸(豊水、伊倉、八喜の一部)は、玉名市生活排水処理施設整備構想に基づき、地域の意見などを踏まえ整備手法などを検討する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	菊池川左岸(豊水、伊倉、八喜の一部)については、地域の整備に基づき、平成25年度に玉名市生活排水処理施設整備構想の見直しを行い、個人設置型浄化槽による整備手法に決定した。	
		24241	新幹線新玉名駅周辺の汚水整備計画は、今後の開発状況に添った適正な下水道事業を引き続き推進します。	新幹線新玉名駅周辺の汚水整備計画は、今後の開発状況に添った適正な下水道事業を推進するため、認可取得を目指す。	5. 着手	状況の説明	平成27年度は新玉名駅周辺の具体的な開発計画がないため、現時点で進捗はない。今後も開発状況に添った適正な下水道事業を推進していきます。	
		24251	立願寺の雨水対策は、今後の整備手法について、慎重に検証し対応します。	立願寺の雨水対策は、市計画道路の完成とともに雨水幹線が整備され、紫根木川の水改修も同時期に実施されたことで、浸水地区内の排水機能が高まり改善がみられるため、状況を確認しながら今後の整備手法を検討します。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	平成19年度に雨水幹線が整備完了し、浸水区域内の排水機能が高まり、現在のごとく大きな被害は発生していないため、整備手法について今後も慎重に検証し対応する。	
		24261	浄化槽の設置者に対しての設置費補助金の交付や、市町村設置型の整備について、今後も積極的に推進するための啓発活動に努めます。	住宅に個人設置型浄化槽を設置する場合には人に適応して補助金を交付する。特にくみ取りや単独処理浄化槽を利用してはいる家庭に合併浄化槽への転換を促す。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	平成27年度は個人設置型浄化槽については104基、市町村設置型浄化槽は9基設置した。今後も引き続き浄化槽整備事業に取り組んでいく。	

後期基本計画に掲載されている事柄			平成28年度調査事項 (H27年度末の状況)				
5 安心安全 なまちづくり	1 防災体制 の強化	24262	「水のきれいな都 玉名」の実現を目指します。 (※浄化槽の設置以外施策によるもの)	公共下水道、農業集落排水、浄化槽の各事業を用いて汚水処理の整備を進め、住環境の改善および公共用水域の保全に努め、「水のきれいな都 玉名」の実現を目指す。	3. 進行中 (後半)	状況の 説明	公共下水道、農業集落排水、市町村設置型浄化槽の各事業実施地区は、今後も整備を進め、住環境の改善および公共用水域の保全に努め、「水のきれいな都 玉名」の実現を目指す。
		24271	横島地区の農業集落排水事業は、今後は、経年劣化による機能低下が懸念される汚水処理場などの改修計画を立てて機能の強化を実施します。	横島地区処理場の機能強化及び各住宅に設置してある真空弁システムの更新を行う。	1. 達成 (完了)	状況の 説明	横島地区については事業終了。引き続き総合的な改修を進めるため新たに横島地区を採択し残る処理場、真空弁システムの更新を行う。
		24281	天水地区の汚水処理対策は、今後、地区住民が求める下水道施設による汚水処理を含め、最も適切な汚水処理の整備手法の検討を図り、その実現に努めます。	天水地区(農業集落排水処理区域以外)は、玉名市生活排水処理施設整備構想に基づき、地域の意見などを踏まえ整備手法などを検討する。	1. 達成 (完了)	状況の 説明	天水地区(農業集落排水処理区域以外)については、地域の意見などを踏まえ見直しを行った結果、今後も市町村設置型浄化槽による整備を推進する。
		25111	災害時における連絡体制や役割分担などについて、防災関係機関、民間事業者と事前に調整を実施するなど、一層の連携・協力体制の充実を図ります。	災害時における救援物資の提供と応急対策活動等の協定調整を実施するなど、一層の連携・協力体制の充実を図る。	2. 概ね達成	状況の 説明	企業等との災害協定を平成27年度には2社と締結した。今後も、救援物資等の提供と応急活動を踏まえ、災害協定の実施を図る。
		25121	危機管理意識の啓発は、市、防災関係機関、自主防災組織などの連携を強化し、市民の防災意識の高揚を図ります。	地域住民一人ひとりが「自分たちのまちは自分たちで守る」という連帯意識の下に、組織的な防災活動を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	自主防災組織の強化及び推進を図り、防災活動を行う。
		25131	常備消防については、災害態様の複雑多様化に対応するため、救助に関する教育訓練体制の充実や救助業務実施体制の充実・強化を促進してまいります。	地域住民が安心して暮らせるように、住民の生命、身体、財産を火災等から保護し、その被害を軽減を図る。	2. 概ね達成	状況の 説明	有明広域行政事務組合に消防費を負担し、常備消防の充実・強化の促進を図っている。
		25132	非常備消防は、団員確保と体制強化を図るため組織再編を検討するとともに、活動に必要な資機材、装備、施設などを充実し、消防団活動の充実を図ります。	消防団員確保と体制強化を図るため組織再編を検討する。	1. 達成 (完了)	状況の 説明	支援団員制度を導入することで消防団の体制強化を図った。
		25141	平時からの防災意識の高揚を図ります。	市民の防災意識の高揚を図るため、防災講演会や研修会等を開催し、防災啓発を継続して実施する。	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	地域防災組織の強化及び研修等を実施し、市民の防災意識の向上を図った。
		25142	防災訓練などに市民が参加しやすい工夫を凝らし、地域の防災力の一層の向上を図ります。	市民、関係機関、玉名市が一体となって実践的な防災訓練を実施する。	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	平成27年度については、災害対策本部の訓練を行った。
		25143	自主防災組織については、更なる組織率の向上に努めていきます。	地域の防災力強化のため、さらに自主防災組織の結成促進・活動力向上に取り組む。	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	平成27年度に新たに組織された地域が25地域あり、今後も自主防災組織の取り組みについて、周知を図ってまいります。
	5	25151	自然災害、危険物災害などの発生に備えた防災行政無線は、各支所の機器が異なるため、その統合・デジタル化を図ります。	将来、玉名、岱明、横島、天水の4つの観局を1つに統合し、アナログから完全デジタル化を図る。	6. 未着手	未着手の理由	平成28年度 実施設計 平成29、30年度 本体工事
	2 治水の強化	25211	水害の多発地帯では河川の改修を推進します。	水害の多発地帯では、災害復旧工事等により河川の改修を推進する。	8. 評価不能	評価不能の理由	河川の改修の推進に当たっては、国や県、市のそれぞれの管理区域があるため、一概に評価することが困難であるため。
		25221	県管理区間の境川については、境川改修事業促進期成会の活動を通して河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化します。	県管理区間の境川は、境川改修事業促進期成会の活動を通して河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化する。	5. 着手	状況の 説明	平成26年度に、国道208号に架かる国道橋の下部工進行済み。平成27年度に上部工を発注し28年度も継続予定である。今後も期成会を通じて早期改修に向けた整備促進を図っていく。
		25222	境川については、市管理区間も下流とのバランスを考慮しながら計画的な整備を推進します。	市管理区間の境川は、下流域とのバランスを考慮しながら計画的な整備を推進する。	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	平成24年度に予備設計実施、平成27年度詳細設計済み。下流の県河川整備の進捗を見ながら用地確保等に入る予定。
		25231	唐人川、尾田川については、唐人川・尾田川改修及び流域整備事業促進期成会の活動を通して河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化します。	唐人川、尾田川は、唐人川・尾田川改修及び流域整備事業促進期成会の活動を通して、河川改修の早期完成に向けて関係機関への要望を強化する。	5. 着手	状況の 説明	平成26年度～27年度に尾田川排水路整備が施工された。県道熊本玉名線より下流域については、順次整備を進めている。今後も期成会を通じて早期の整備促進を図っていく。
	3 交通安全 対策の強化	25311	交通安全対策は、主要道路や通学路の歩道整備を引き続き推進します。	交通安全対策としての主要道路や通学路の歩道整備は、適宜、部分的な改良等を実施する。	8. 評価不能	評価不能の理由	交通安全対策としての通学路の歩道整備は、適宜部分的な改良を行っている状態であるため、一概に評価することが難しい。
		25321	「高齢者の交通安全の確保」「自転車の安全利用の推進」「シートベルトの全着席着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底」「飲酒運転の根絶」に重点をおいた交通安全意識の啓発や交通安全教室を実施します。	第9次玉名市交通安全計画(平成23年度～27年度)において設定している目標に準じ、平成27年までに24時間交通事故死者数を2人以下、年間の交通事故負傷者数を420人以下とする。	3. 進行中 (後半)	状況の 説明	年間の交通事故負傷者数及び発生件数は減少傾向にあるが、平成27年において死亡事故件数が4件であった。
	4 防犯対策 の強化	25411	行政区、学校、家庭、職場への広報活動を充実させ、地域防犯組織の育成を図ります。	警察をはじめとする関係機関からの情報を防犯活動に取り込むボランティア団体等に随時提供する。また、広報組に協賛し市民の防犯意識の高揚を図り、防犯組織の育成に努める。	2. 概ね達成	状況の 説明	関係機関と連携を図りながら、交通パトロール等を実施し、地域防犯の意識の向上に努め、防犯強化の育成を図った。
		25412	防犯対策の強化に努めます。(※地域防犯組織の育成を除く。)	青パト巡回未実施のPTAや補助員等の防犯協力団体に青パトの活用を働きかけ、年間を通じた青パトによる巡回強化を図る。	2. 概ね達成	状況の 説明	青パトの巡回平成27年度実施状況年間205回実施
		25421	学校周辺をはじめとする危険箇所の把握を関係団体と連携して実施します。	玉名警察署、学校、関係課と通学路等の安全点検を今後も実施し、これらの関係機関と連携を取りながら危険箇所の解消に努める。	2. 概ね達成	状況の 説明	通学路等における交通危険箇所については、関係部署関係課と現地立会いにより、対応を図った。
		25422	(防犯施設整備)の対策が必要な場所には、行政区などの管理団体に防犯灯を設置するための補助制度の活用を働きかけるなどとして、防犯施設の整備を図ります。	管理団体の負担により設置するため目標設定は困難であるが、寿命が長く、電気料金が安価なLED照明の特性について情報提供に努め、球交換の労力軽減も図れることからLED照明防犯灯の普及を促進する。	2. 概ね達成	状況の 説明	LED化の推進については、着実に増加傾向にあり、今後も普及活動を進めていく。

後期基本計画に掲載されている事柄			平成28年度調査事項 (H27年度末の状況)											
6	ごみ・資源処理と再資源化の推進	1	ごみ分別収集の推進	26111	ごみ排出量の減少化に資するため、更なるごみ分別の徹底を図ります。	ごみの分別は、現在違反ごみも減少してきている。しかしながら、焼却場、最終処分場の延命化等も含め市民への更なる啓発を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	徐々ではあるが市民に対し、ごみ分別収集の必要性が図られ違反ごみは減少しつつある。資源処理センター2号棟の補修工事は、平成28年末で終える予定であるが、施設の延命化を図るためには、事業所ごみを含め減量化を図る必要がある。					
				26112	資源ごみの回収に特に有効なコンテナ方式は、モデル地区の拡大に努めます。	資源ごみの回収には、コンテナ回収が有効であるためモデル地区の更なる拡大に努める。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	現在、市内で3団体、約23地区でコンテナ回収が行われており地域でごみ減量の効果が図られている。今後も、ごみ分別を推進するうえで、さらなる実施地区の拡大に努めることが必要である。					
	2	循環型社会システムの構築		26211	更なる3R(ごみの抑制: Reduce、再利用: Reuse、再資源化: Recycle)の取組を推進します。	更なる3Rの推進に努める。また、「使用済小型電子機器の再資源化の促進に関する法律」が施行されたことによる回収方法等の検討を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	ごみの減量を図るには、3Rをさらに推進する。使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律は、平成24年8月に施行されたが広域行政組合や構成市町との連携も図りながら進めていくよう努める。					
				26212	(循環型社会システムの構築を間接的に)広報誌や市のホームページなどで啓発を実施します。	ごみの分別や循環型社会システムの構築を図るため、広報誌や市の平成P、啓発チラシ等により啓発を続ける。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	広報誌や市のHP等を活用し、ごみ減量化図るため市民に継続的に広く周知していく。					
	3	不法投棄の監視強化		26211	家庭ごみをはじめ産業廃棄物などの不法投棄は、関係機関との連携・パトロールの強化などを図りその撲滅に努めます。	一般廃棄物、産業廃棄物などの不法投棄に対して、東、委託業者等と連携・パトロール強化及び排出者への指導の強化に努める。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	ごみの減量を図るには、3Rをさらに推進する。使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律は、平成24年8月に施行されたが広域行政組合や構成市町との連携も図りながら進めていくよう努める。					
	3	人をほぐくむまちづくり	1	学校教育の充実	1	就学前教育の充実	31111	一人ひとりの子どもの発達段階に応じた適切な教育を行います。	一人ひとりの子どもの実態を確実に把握しうえ、個に応じた適切な教育を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	各小中学校と学校総体で取り組んでおり、小学校と中学校のより情報の共有化を図り、児童生徒理解が進み、個に応じた指導が推進できている。更に就学前教育との連携を強化している。		
							31112	中学校区における幼・保・小・中の連携と交流を更に深めます。	中学校区単位で小中一貫の視点に立った教育活動(小中一貫教育)を展開し、小・中の連携をさらに深め、同時に幼・保との連携、交流も推進する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	小中一貫教育推進計画に基づき、各中学校区で「目指す子ども像」を定め、「知・徳・体」それぞれに共通実践事項を決めて取り組む体制を整った。小中一貫教育コーディネーターの研修を行い推進リーダーの育成にも努めている。		
							31121	読書の重要性を再認識し、想像力を豊かにし、表現力を高めるなど効果的な読書活動を推進します。	全小中学校の学校図書館図書標準達成率75%以上を目指す。	2. 概ね達成	状況の説明	平成27年度調査(平成26年度末実績)によると学校図書館図書標準達成率は玉名市小中学校で75%以上となっている。ボランティアによる絵本の読み聞かせ、童話発表会の実施の実施。		
							31122	就学前から家庭や地域との連携のもと、読み聞かせなど読書に親しむ場を工夫します。	図書室補助員をすべての小中学校に配置し、児童生徒の読書活動を支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	図書室補助員は全小中学校に配置しているが、18名中9名は2校兼任である。小学校配置: 16, 593, 611円 中学校配置: 8, 197, 134円		
2							生きる力を身につける教育の推進		31211	学校は、人間形成の基盤づくりの場であることから、「みんなで助け合い、楽しく基礎・基本を学ぶ」ことを前提とし、さらに、個性を伸ばし、生きる力をほぐくむことを目指します。	いじめや不登校、並びに体罰等の発生防止に努め、教師一人一人の授業力アップと児童生徒の学習意欲を高め、基礎基本の定着及び社会性の向上に努める。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	義務教育9年間を見通して中学校区ごとに策定された共通実践事項を見直し小中の連携を推進している。教育活動に保護者や地域の人材を活用することで、様々な価値観に出会わせ、自ら考える力を高めている。
									31212	社会教育と連携し「地域の子どものはぐくみ」を推進し、農業者や職人、企業家、環境学習、ボランティア活動などを積極的に学習活動に取り入れたい。	学校・地域との連携を推進し、学校と地域がそれぞれの力を出し合い、将来を担う有為な児童生徒の教育活動を推進する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	すべての学校で学校応援団の協力を得て、校外での体験学習等を実施している。働く人々の苦労や願いを知り、体験することで自己を見つめ、さらに自己の将来につながるキャリア教育の一助となっている。
							31221	情報教育、環境教育、国際理解教育など、体験学習や実践を取り入れながら積極的に実施します。	すべての小中学校において、情報教育、環境教育、国際理解教育の全体計画及び年間指導計画をそれぞれ作成し、体験学習や実践を取り入れながら、計画的・系統的な教育活動を展開する。	2. 概ね達成	状況の説明	すべての小中学校において、情報教育、環境教育、国際理解教育の全体計画及び年間指導計画をそれぞれ作成し、体験学習や実践を取り入れながら、計画的・系統的な教育活動を展開する。		
							31222	学校ホームページを通して、学校の教育活動の様子などを保護者や地域住民に伝え、地域に開かれた信頼される学校づくりを努めます。	学校ホームページを定期的に更新し、学校の情報(教育活動の様子など)を常に発信し続ける。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	ホームページは、すべての学校で開設されているが、常時更新している学校と、定期的な更新ができていない学校が依然見られる。機会を捉えて更新の呼びかけを行っている。学校だよりは、校長を中心として定期的に発行している。		
							31231	指導主事派遣事業、学校訪問事業を充実させます。	一人一人の教師の授業力・生徒指導力を高め、組織としての学校力を高めるために、全ての学校への訪問を実施し、さらに要請に基づき必要に応じて指導主事を学校に派遣する。	進行中 (後半)	状況の説明	全27校に対し、教育事務所訪問を含め、市教委による学校訪問を実施し、授業参観等を通して、指導・助言を行うとともに管理職と課題を共有し、適切な支援を行っている。		
							31232	多様な指導形態と評価方法の工夫改善や言語活動の充実を努めます。	各学校が児童生徒の実態を把握し、校内研修等において課題を共有し、共通実践に取り組む。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	身につけさせたい力を明確にした上で、指導事項と結び付け、言語活動を設定し、児童生徒が自ら考え、判断し、それを表現する等の授業の展開を工夫している。		
							31241	心身の健康や自然の恩恵、勤労などへの感謝、食文化などについて、教科と学校給食や体験活動に関連させた体系的な指導の充実を図ります。	すべての小中学校において食育全体計画及び年間指導計画を作成し、計画的・系統的な教育を実施する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	すべての小中学校において心身の健康や自然の恩恵、勤労などへの感謝、食文化などについて、教科と学校給食や体験活動に関連させた体系的な食育全体計画及び年間指導計画を作成し、それに基づき計画的・系統的な教育の実践が図られている。		
							31242	食に関する知識や実践的な態度を身につけさせ、望ましい食習慣の形成に努めます。	すべての小中学校において食育全体計画及び年間指導計画を作成し、計画的・系統的な教育を実施する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	本市栄養教諭及び栄養職員による食育指導を全ての小中学校に行っている。また、学校単位で食育に関する指導を行っている。		
							31251	子どもの体力低下を防止し、子どもの基礎的な体力を身につけるため、体力・運動能力テストを実施します。	体力・運動能力テストを実施し、成果と課題を明確にして学校体育の充実を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	体力・運動能力テストを実施した。リーダーチャート等を活用し、成果と課題を明確にして学校体育の充実を図っている。		
							31252	子どもの体力低下を防止し、子どもの基礎的な体力を身につけるため、学校体育の充実を図ります。(※体力・運動能力テストを実施を除く。)	すべての学校において学校体育指導全体計画及び年間指導計画を作成し、学校体育の充実を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	すべての学校において学校体育指導全体計画及び年間指導計画を作成した。それに基づき学校体育の充実を図っている。		
							31261	玉名市教育委員会指定研究推進校補助事業を引き続き推進します。	毎年新規に2校の推進校を指定し、全校一体となって学力向上等に取り組む。2年目に成果の検証のための発表会を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	特色ある学校づくり研究指定校2校 玉名学研究指定校事業2校		
							31262	全国学力・学習状況調査を市立小・中学校で今後も実施し授業改善に取り組みことにより、児童や生徒の学力向上に努めます。	教育活動の成果検証のための一指標とし、問題内容や問い方などを授業に活かし、基礎基本を活用する力を高め、結果をもとに課題を洗い出し授業の改善及び学習内容の定着を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明	各学校とも、調査実施、結果分析、指導改善等のPDCAサイクルに沿った取組がなされ、学力向上に向けた共通実践を進めている。		

後期基本計画に掲載されている事柄		平成28年度調査事項 (H27年度末の状況)					
3 学校・家庭・地域の連携	7	31271	家庭教育は、玉名市家庭教育啓蒙の理念に基づき、社会教育と連携を図り意識啓発に努めます。	各学校が、教育活動にかかる情報を保護者や地域に発信し、児童生徒の課題の共有を図り、教育の第一義的責任を有する家庭の意識を高め、協働して健全育成に努める。	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	授業参観や懇談会や校外での講演会等への参加が、家庭によって偏りがあり、すべての家庭で課題を共有するには不十分で、達成が難しい状況である。
	8	31281	不登校の未然防止や解消、いじめや問題行動の早期発見・早期対応に向けて、学校と家庭や関係機関が連携をとり、細心に配慮しながら実施します。	不登校の未然防止や解消、いじめや問題行動の早期発見・早期対応に向け、学校の教育相談活動の機能強化を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	玉名市教育相談員を教育総務課内に1名配置し、適応指導教室指導員を各中学校に1名配置しているが、相談業務が増加しているため学級の要望により、適応指導教室指導員活用事業 ①細事業名：適応指導教室指導員活用事業 ②H27年度計画予算：3,840千円 ③H27年度決算：3,829千円 ①細事業名：教育相談業務 ②H27年度計画予算：1,242千円 ③H27年度決算：1,167千円
	9	31291	一貫性を持たせた体系的な教育方式である小中一貫教育の創設も視野に入れた小中一貫教育のあり方について検討を開始します。	平成25年3月14日に小中一貫教育推進計画を策定し、平成26年4月から市内全小中学校において小中一貫教育をスタートするため、中学校ごとに小中一貫教育に向けての体制づくり着手する。平成28年度末までは、小中一貫教育体制を構築し、エンジョイ・イングリッシュと玉名市を市内全小中学校にて実施する。	3. 進行中 (後半)	状況の 説明	6中学校において、共通の「目指す児童生徒像」を定め、その具現化のための「共通実施事項」を知・體・心とし、それぞれの達成目標を定め、中学校単位で同じ方向に向かって学習指導や生徒指導を行っている。また、平成26年度から研究指定期校において、特色ある教育課程「玉名学」「エンジョイ・イングリッシュ」の実施検証を行い「エンジョイ・イングリッシュ」においては平成27年度から全小中学校で実施している。
	1	31311	教職員自身が地域のよさを再発見し、課題解決的な学習を通して教科や道徳、総合的な学習の時間などに生かしているよう努めます。	玉名の歴史や産業、礼儀、作法等について学ぶ『玉名学』のテキストを作成し、市内全部の小中学校へ導入していくことで、生まれ育った玉名への誇りをもつ子どもたちを育てる。	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	玉名の歴史や産業、礼儀、作法等について学ぶ『玉名学』のテキストの完全版を作成する。研究指定期校の研究発表を行い玉名市の授業実践の方法を市内に広げ、平成28年度からの全校実施に備える。教職員が玉名学の実践に生かすことができる指導書も「礼節」探究で作成する。
	2	31321	伝統芸能・文化の継承は、文化振興や社会教育と連携し、教育課程外などの時間を活用し、ふるさとの祭りなどを地域素材として教材化し、社会科学習などに活用します。	社会科での学習のみならず、『玉名学』においても地域素材をいかした学習を取り入れることで、地域に対する児童生徒の興味・関心を高める。	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	施策No.31311と同じ
	3	31331	米作りなどの体験学習や他学級との交流学習、地域の人との交流などを積極的に実施します。	各学校で創意工夫しながら、さまざまな体験活動等を取り入れることで、児童生徒の社会参加や自立を促す	2. 概ね達成	状況の 説明	各学校が創意工夫しながら、さまざまな体験活動等を実施しており、児童生徒の社会参加や自立を促している。
	4	31341	学校支援ボランティアの活用や学校評議員、学校運営協議会委員などによる学校関係者評価を進めます。	学校の教育活動に外部の人材を導入したり、学校の自己評価だけでなく外部からの評価を受け、得られた課題を必要に応じて学校経営方針等の改善事項に組み込み、教育活動の充実・向上を図る。	2. 概ね達成	状況の 説明	学校評議員事業小学校19校 学校運営協議会 小学校2校、中学校6校で取り組まれており内外からの評価を取り入れた学校運営を行っている。
	5	31351	通学路の安全点検や防犯パトロールなど、地域が一体となり交通安全・防犯体制を強化します。	すべての学校で通学路の安全点検を行うとともに、地域ボランティアによる防犯パトロールの組織づくりを推進する。	2. 概ね達成	状況の 説明	平成27年度すべての学校で通学路の安全点検を行い、通学路交通安全推進会議の実施、通学路交通安全7か所を防災安全隊・建設管理課と共同で作成 学校と地域連携し防犯体制づくりを行った。(子ども見守り支援事業)
	6	31352	校内に防犯カメラを設置します。	小学校21校及び中学校6校防犯カメラを設置する。(※中学校は必要に応じる。)	3. 進行中 (後半)	状況の 説明	小学校21校と玉名中学校、玉陵中学校に設置が完了している。残り4中学校には未設置のため、今後必要に応じて設置を図る。
	6	31361	「あいさつ運動」などによる地域との関わりを通して、心豊かたけい子どもたちを育てるよう学校教育を推進します。	すべての学校において児童会・生徒会を主体としたあいさつ運動を行う。	1. 達成 (完了)	状況の 説明	すべての学校において児童会・生徒会を主体としたあいさつ運動を行っている。
4 人権教育の充実	1	31411	一人ひとりがお互いを尊重し、命の大切さを実感できる、「命の教育」を推進します。	すべての小中学校において道徳教育全体計画及び年間指導計画を作成し、豊かな体験活動との関連を図ること「命の教育」を推進する。	1. 達成 (完了)	状況の 説明	すべての小中学校において道徳教育全体計画及び年間指導計画を作成した。これに基づき、豊かな体験活動との関連を図ること「命の教育」を推進している。
	2	31421	同和問題を人権問題の中心に据えながら、あらゆる人権問題解決のために、人権教育の一層の推進を図ります。	すべての小中学校において、人権教育の全体計画及び年間指導計画を作成し、計画的・系統的な教育活動を展開する。	2. 概ね達成	状況の 説明	すべての小中学校において、人権教育の全体計画及び年間指導計画の作成が完了している。本年度より新しい形式による全体計画を作成するように新たに指導している。
	5	31511	老朽化した校舎などの(学校施設は)改修や改築について年次計画に基づき整備を図ります。	老朽化した校舎などの学校施設の改修や改築を年次計画に基づき整備する。	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	建築時期が昭和40年～50年代に集中しており、建築後約35年～50年が経過し、老朽化した校舎が大半を占めている。そのため改築を含めた改修計画が必要で、莫大な予算が必要となっている。学校再編の事業計画と平行しながら新たな改修計画を行い、年次計画をもって整備を図っていく。
5 教育環境の整備	2	31521	小・中学校の校舎などは耐震診断に基づき計画的に耐震補強工事を実施し、平成25年度までに耐震化を図ります。	すでに着手済み(平成24年末の耐震化率は98.9%) 平成25年度未完了を計画していたが、玉中武道場に未調査であったため、急遽平成24年度に耐震診断を実施。結果耐震補強困難となり、平成25年度設計、平成26年度改築を行う。	1. 達成 (完了)	状況の 説明	玉中武道場の耐震診断を実施した結果、耐震補強が困難と認められたことにより、H25年度に解体工事を行い耐震化率100%となった。H26年度には玉中武道場の改築工事を行った。
	3	31531	小・中学校の適正な規模や配置の基本的な考え方などについて検討する審議会を設置します。	平成23年度中に6回の玉名市学校規模適正化審議会を開催し、平成23.12に玉名市学校規模適正化建議を受け、平成24.3.14に玉名市学校規模・配置適正化基本計画(案)を決定する。望まれる学校規模基準(小学校2学級～3学級)、中学校「3学級以上」を決定する。	1. 達成 (完了)	状況の 説明	H24.6月から玉名市学校規模・配置適正化基本計画説明会や意見交換会、パブリック・コメント等を実施し、10月に玉名市学校規模・配置適正化基本計画を決定する。その後、最初に実施する玉陵中学校区の6小学校区にて実施計画説明会を行い、周知を図った。平成27年度は天水中校区でも説明会を行った。
	4	31532	(小・中学校の適正な規模や配置の基本的な考え方などについて検討する審議会)で検討された建議を受けて、学校規模や学校配置についての基本方針を策定し、その計画を推進します。	全市内6中学校において基本計画(素案)説明会を実施し、同時にパブリック・コメントを実施する。天水中校区区小中学校区において、基本計画(素案)意見交換会を実施し、平成24.10.11に玉名市学校規模・配置適正化基本計画を決定する。最初に取り組む玉陵中学校区において、実施計画説明会を実施し、平成25.2.18に新しい学校づくり委員会(部会)を発足させ、計画を推進している。平成28年度末までは、玉陵中学校区を完了させ、平成27年度からは天水中校区を検討に入り、学校再編を軌道に乗せる。	4. 進行中 (前半)	状況の 説明	最初に取り組む玉陵中学校区において、「新しい学校づくり委員会」を組織し、学校再編に必要な諸事項を協議・調整し決定して行きながら、6小学校を1小学校にする学校再編を推進し、1学年 2～3学級の学校規模基準にする。 平成27年度は新しい学校づくり委員会を3回、各専門部会を合計10回開催し、「総務・校舎・校車・校則」や「玉陵中学校区(仮称)」・玉陵中学校のレイアウト、平面配置図)を決定した。 天水中校区区においては、説明会を各小学校区単位で各1回ずつ、各小学校区内の保護者・未就学児の保護者向けに各1回ずつ、部田見区住民説明会を1回行った。
2 社会教育の充実	1 生涯学習の推進	32111	4公民館(玉名市中央・信明町・横島町・天水町)は、連携を図り、地域の実情に合わせた各種公民館講座事業を拡充します。	市民を対象に生涯を楽しみ、充実させるため地域の実情にあった学習を提供し、生活の質の向上に役立てるとともに地域社会への参加を促進し連携意識の強化を図る。また、地域のニーズに応じた講座内容により各公民館で継続的に実施する。	1. 達成 (完了)	状況の 説明	中央公民館19講座、信明町公民館14講座、横島町公民館8講座、天水町公民館5講座を実施した。H27年度については、新聞に保健予防課と連携し「現代の課題講座」を実施した。



後期基本計画に掲載されている事柄		平成28年度調査事項 (H27年度末の状況)				
1	32112	4公民館(玉名市中央・信明町・横島町・天水町)は、誰もが参加できる自主活動の支援に努め、生涯学習機会の充実を図ります。	市民の自主的な生涯学習活動の支援や自主団体の育成を図り、自ら実践する心と活動を育む生涯学習を推進する。各年齢層、性別に応じた工夫のある内容で講座・研修会などを継続して実施する。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成27年度についても事業を継続し、自主講座の発表の機会や支援を行った。また、親子参加型講座や若い世代向けの講座を実施し、幅広い年齢層の方たちが参加できる講座の環境づくりに努めた。
	32121	公民館職員の研修体制を強化し、地域に根ざした公民館活動を振興します。	地域住民が相互協力により、文化・スポーツ活動や世代間の交流を図れるよう、また、生涯学習の場として公民館が安心して利用できるよう継続的な振興を図る。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成27年度については、市・県・九州単位での研修に参加し、先進地の活動などについて学ぶ機会を得た。
	32131	各支館活動の充実が不可欠であることから、それぞれの支館が個性や独自性を生かした計画づくりを実施します。	地域社会の親睦と融和を図り、相互理解と地域連帯感を高め、コミュニケーションを深めることを最大の目的であり、継続的なサポートする	1. 達成(完了)	状況の説明	平成27年度についても支館委託料を支出し、費用面からの支館活動に対するバックアップを行い、支館長会議・研修の開催を行なった。
	32141	まちづくり団体も地域の表情に応じた個性的な活動を展開している団体のネットワークづくりを実施します。	地域の表情に応じた個性的な活動を展開しているまちづくり団体と、長期的、継続的にネットワークづくりを進める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	市公民館支館長研修会において、60分間のまちづくり等に関する講演会の開催、支館活動の事例発表や意見交換を通じ、情報共有ができる機会を設けた。
	32151	地域づくりが持続的に発展するため、地域の担い手の育成を積極的に推進します。	地域の担い手の育成を積極的に推進するため、多方面に亘る活動機会、情報収集をもとに、人材確保に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	公民館講座の講師に地元の人材を採用するとともに、自主グループの活動やメンバー募集チラシを公民館に掲示し、学習活動に参加していただけるように努めた。
	32161	本市の図書館と図書室は、相互の情報ネットワーク化により利用者の利便性の確保を図ります。	図書館及び図書室の利便性の確保のため、利用者からの要望によるインターネット予約を平成25年9月より開始する。	1. 達成(完了)	状況の説明	平成25年度事業完了済み。
	32171	図書館の蔵書数の充実に努めます。	蔵書内容の見直しを図り、市民のニーズ、各図書館のニーズにあわせた選書を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	リクエストを元に市民のニーズを把握し、選書を行っている。
	32172	年齢層に沿った様々なイベントやコンクールなどを地域や学校教育と連携しながら実施し、市民の読書意欲の向上を図ります。	毎年行う読書活動推進行事は年々参加増である。減少した行事は、問題点の割出を図り検討する。	2. 概ね達成	状況の説明	毎年継続して行っている行事については、利用者にも浸透しており、参加数は安定している。また、新たな行事を設けたことで親子から高齢者まで幅広い年齢層が参加できた。
	32181	「家族のなかよし」「ともだちのなかよし」「学校のなかよし」「となり近所のなかよし」「地域全体のなかよし」を積極的に推進します。	イベントの開催を目的とするのではなく、地道に根気強くなかよしの日事業の企画、啓発を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	市町合併5周年を機に宣言された玉名市「なかよしの日」ですが、平成27年度は市町合併10周年記念式典と同時開催し、来場者約800名見守る中、「なかよしの日」のイベントを開催しました。その中で、アンケートを実施したところ、なかよしの日の認知度についての項目で、既に知っている方と答えた方が全体の48%であり、今回知ったと回答した方が51%、1%が無回答でした。
	32191	市民の学習意欲が高い講座や研修会などを積極的に実施します。	趣味的講座だけではなく、教養講座を取り入れるとともに、地域に応じた課題をテーマに開講する。	2. 概ね達成	状況の説明	平成27年度に保健予防課と連携し、3回シリーズの現代読書講座を実施した。各種公民館講座についても、パソコン講座など趣味と教養を兼ね備えた講座を実施した。
32192	公民館講座や受講した講座の2年間の成果発表の場となる玉名市生涯学習フェスティバルを引き続き開催します。	公民館講座の1年間の集大成として生涯学習フェスティバルを開催し、公民館講座の普及啓発を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	H27年度は舞台発表が10団体、展示発表が11団体出場。記念講演も含めると1000名ほどの来場があり、成果発表と普及の場として実施した。	
A	321A1	地域の身近な小・中学校、高等学校、九州看護福祉大学との連携を強化し、環境、高齢者、趣味などに関する多様な学習機会を創造します。	指導する方々との異なる世代間の交流を図り、豊かな人間性や社会性を育む。	4. 進行中(前半)	状況の説明	社会教育委員、社会教育指導員による交流や学習機会の提供を行った。また生涯学習事業について助言や意見を伺った。
2 社会教育の推進	32211	子どもたちが学校や地域において、ボランティア活動や農業体験など多様な体験活動ができる体制づくりを、学校教育と連携して実施します。	子どもが自ら学び、自ら考え、判断していく「生きる力」をばくむことに努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	さまざまな分野で子ども達の学び、活動、体験ができるよう学校、地域と連携して放課後子ども教室を継続実施した。今後も交流の場を広げるため、指導する方々の発掘や育成に努める。
	32221	地域の高齢者と子ども達の交流を地域と連携して推進します。	子どもたちが、郷土の歴史や文化に対しての理解が深まる体制づくりに努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明	子どもたちが郷土の歴史、文化についてふれ合えるよう、放課後子ども教室の中で地域の高齢者との交流を行った。
	32231	(社会教育の充実を図るための)人材育成、指導者養成を積極的に実施します。	社会教育の充実を図るため、社会教育団体の活動を通じて、人材育成を支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	青少年の主張、子ども会活動によるリーダー育成、地域に根ざした女性の活動等各種社会団体を支援し、その活動を通じて人材の育成を行った。
	32232	(社会教育の充実を図るための)各種研修を支援します。	社会教育の充実を図るため、研修の開催を支援し、人材育成に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	親の学びプログラム(子どもの発達段階に応じて家庭で大切にすべきことなどを学ぶ)やアイスブレイク(緊張を取り除く手法)など小中学校に出向き講演し、家庭教育について幅広い考え方を実践提供し地域リーダーの育成に努めた。
	32241	あらゆる分野において、「人々が生存と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利」である人権教育を推進します。	様々な人権問題の解決を自らの課題として考えられるような人権教育を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明	人権教育研究会(講演：市民会館、分科会：九州看護福祉大学)を開催し、市民に人権教育について学ぶ機会を提供した。また、人権標語やポスターを募集し、家庭で個人で人権問題について考える取組を行った。
	32251	『玉名市家庭教育憲章』の理念に基づき、市民一人ひとりが家庭や家族、家庭教育の役割を見つめなおすことの重要性について、積極的に意識啓発を実施します。	市民それぞれが、玉名市家庭教育憲章を再度見つめ直し家庭の教育力向上の意識啓発に努める。	8. 評価不能	評価不能の理由	計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが難しいため。
3 社会教育施設の充実	32261	(社会教育の推進のため)PTAや学校、地域、行政が一体となった連絡・調整機能を果たす場の形成を図ります。	社会教育団体等と連携を図り、さまざまな機会を活用しながら地域教育力の向上を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	青少年の主張、家庭教育に関する講演、PTAと行政が教育について話し合う教育懇談会を開催し家庭教育の推進と地域教育力の向上を目指した。
	32262	家庭における親子のきずなの形成や、基本的な生活習慣の習得など、地域や家庭の教育環境の向上を目指します。	市民それぞれが玉名市家庭教育憲章を再度見つめ直し、家庭の教育力向上を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	各小中学校PTAを対象に家庭教育に関する講演会の実施を促し、また、親の学びプログラムの実践を行い家庭教育の教育向上を図っている。
32311	玉名市文化センターなどの生涯学習環境の整備を図るため、施設と設備の充実に努めます。	玉名市文化センターは築33年が経過し、施設や備品の老朽化により、修繕や備品の更新が必要となっている。利用者が安心して利用できる施設とするために劣化状況に応じた補修、修繕等を行い、安全な施設管理に努めていく。	3. 進行中(後半)	状況の説明	玉名市文化センターは築34年が経過し、施設や備品の老朽化により、修繕や備品の更新が必要となっている。利用者が安心して利用できる施設とするために劣化状況に応じた補修、修繕等を行い、安全な施設管理に努めていく。	

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H27年度末の状況)						
3	社会体育の充実	1	生涯スポーツの推進	33212	(玉名市文化センターは、) 災害時の対策本部としての役割も担う施設でもあることから建物の耐震診断の実施を検討します。	昭和56年に建設された玉名市文化センターは、現行の耐震基準を満たしていないため、耐震診断を行う。平成25年度に耐震診断を実施し、耐震改修の要否を判断する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	平成25年度事業完了済み。	
			33111	身近な地域でスポーツに親しむことできるように、市民を対象とした総合型地域スポーツクラブの育成を図ります。	地域の実態に応じた総合型地域スポーツクラブの育成及び設立の検討を行う。	5. 着手	状況の説明	玉名市体育協会主催の検討会議(4回)に参加し、協議を行った。 平成27年7月30日に総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会設立総会の開催され、その後8回の委員会が開催され協議を行った。		
				33121	市民スポーツを通して市民の交流を図り、健康づくり、体力づくりへの意識の向上を図ります。	ビーナボールバレー大会やゴルフ大会など概ね10大会の市民スポーツ大会を継続して実施する。	8. 評価不能	評価不能の理由	毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため	
				33122	競技スポーツを通して競技力の向上と底辺拡大を図ります。 (※上記の施策No.33121に同じだったので、上記とともに修正しました。)	全国大会出場者等の激励及び競技スポーツ大会への補助により競技力の向上を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由	毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため	
				33131	体力や年齢を問わず、気軽に取り組めるグラウンドゴルフ、ペタンクなどのスポーツを普及します。	生涯スポーツとして誰でも楽しめるスポーツとして普及推進を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由	毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため	
				33141	学校教育や介護予防など組織間の連携強化を図り、子どもの体力づくり、高齢者の健康づくりの推進に努めます。	学校施設を夜間開放し、地域住民のスポーツ環境を提供。また、トレーニング室での各運動教室の充実を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由	毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため	
			33151	「だれもが、いつでも、どこでも気軽に参加できる」生涯スポーツの充実を図るため、各種スポーツ教室を開催し、競技力の向上を図ります。	スポーツレクイエア大会、市民体育祭でのニュースポーツ競技などの推進を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由	毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため		
				2	33211	各スポーツ団体などに研修会や講習会への参加を積極的に促し、社会体育指導者の育成を図ります。	スポーツ推進委員会等研修会に参加させ生涯スポーツの指導者の育成、また市体育協会へ補助金を交付し競技スポーツの審判、指導者の育成を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由	毎年継続して行っているものであり、計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが困難であるため
					3	33311	健康増進や余暇活動としてのスポーツレクイエアの拠点として、体育施設の体育施設の整備を推進します。	快適なスポーツレクイエーション施設としての機能維持を図り、安心・安全・公平な施設利用や施設整備を行う。	8. 評価不能	評価不能の理由
				33321		新たなスポーツ活動、健康づくりの拠点としての施設整備などを検討します。	横島体育館の建替えを行う。	1. 達成 (完了)	状況の説明	改築前横島体育館解体工事及び建築工事、電気設備工事、機械設備工事、外構工事を行った。 構造：鉄骨造平屋建 建築面積：1480.91㎡
				4		4	34111	博物館は、市民の文化的創造と享受に資するため、企画展などの充実を図ります。	企画展に関連した催物や体験学習を実施する。	2. 概ね達成
			34112		(博物館は、)子ども達が郷土の歴史や文化に触れるよりよい機会や体験学習の場となるよう、その活用を積極的に推進します。	体験及び随時受け付けの体験学習、催物(コンサート等)を年間スケジュールに従い実施する。	2. 概ね達成	状況の説明	催物13件、コンサート6件、体験学習26件の計45件を実施した。	
			34121		(市内に数多く残っている国指定史跡をはじめとする文化財の)保存整備活用計画を作成します。	計画期間中(平成25～平成26年度)において、文化財保存整備計画の中に文化財の保存整備及び活用における計画を策定する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	平成26年度に策定した、玉名市文化振興基本計画内の、文化財保存整備活用基本計画により、今後の文化財保存整備及び活用に関する指針を示した。	
			34122		観光振興のため(貴重な文化財の)有効活用を目指す。	国・県指定をはじめ、貴重な文化財の保存と活用のための整備を進めるとともに、大坊古墳、永安寺東・西古墳等については一般公開を行うなど活用を図る。	1. 達成 (完了)	状況の説明	熊本県装飾古墳一斉公開(10月・3月)に併せて、永安寺東古墳、大坊古墳、石貫ナギノ横穴群、石貫穴観音横穴の一般公開を行い、延べ1,367名の見学があった。	
			34131		市民会館(ホール)は、市民の集いなどや芸術文化活動の拠点施設としてふさわしいホールを整備します。するとともに、市内の文化活動の活性化に努めます。	今後、平成26年度中に建設位置をあらためて決定するとともに、スケジュールを再構築し、遅くとも合併特例債の適用期限である平成32年度までの整備を目指す。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成26年度からの2カ年で基本設計に沿って、28年度に実施設計を進め、29年度には本工事を着手、30年12月までの完成を目指す。	
2	文化交流活動の推進	34132	市内の文化活動の活性化に努めます。	文化協会との共済による市民文化祭を市民会館で実施することにより、文化活動の活性化を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	市民文化祭の市民会館ホール(舞台部門)は、伝統文化芸能、日舞、コーラス、音楽、新日舞、ダンス、市民会館事務所棟は、文芸(俳句、短歌、肥後狂句、川柳)などの発表、展示を行った。			
			34141	文化協会や各種団体の育成強化に努めます。	文化協会が実施する事業を自立的に実施できるよう事業費補助や人的支援を継続的に実施する。	2. 概ね達成	状況の説明	玉名市文化協会及び信明太鼓振興会へ補助金を交付し適宜、運営面で支援した。		
		34211	市民一人ひとりの自主性と創造性を尊重し、市民の文化意識の向上を図ります。	市民文化祭を実施し、広く市民に参加を促すことにより市民の自主的かつ創造的な活動を支援することにより文化活動の向上を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	市民文化祭の展示部門を助産者体育センターで開催した。一般公募を行い協会員以外の市民の作品を展示した。また、園芸関係は市民会館事務所棟、市民広場では菊花展を開催した。			
			34212	地域の身近な文化に接する機会を提供します。	伝統文化なども教室の開催を支援することにより、機会を提供する。	2. 概ね達成	状況の説明	和装礼法、華道の2教室が補助事業として採択し、市内小・中学生を対象に開催し、習得された技術の展示や発表会等を開催した。		
			34213	郷土の歴史や文化、芸能、芸術に対する理解と愛着心を育成します。	地域の文化の向上及び発展のため、補助金・奨励金の交付を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	全国大会出場奨励金(少年少女囲碁大会、神楽フェスティバル、創造ものづくり教育フェア)、玉名市文化協会、信明太鼓振興会へ補助金を交付し、適宜運営に必要な助言をした。		
		34221	地域文化の振興を図ります。	市民文化祭等で次世代を担う子供達に地域文化の継承を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	市民文化祭の舞台発表において、子どもの発表を取り入れた。子ども神楽保存会に補助金の交付を行い、地域文化の継承に取り組んだ。			
		34222	芸術文化団体や市民とともに協働して市民文化祭の充実を図ります。	市民文化祭の開催により芸術文化団体の後継者育成を充実させる。	2. 概ね達成	状況の説明	文化協会が主催となり市民文化祭として加盟団体が一体となることで、後継者育成につなげている。また、広く市民に周知参加の機会を増やし興味をもってもらうことで、後継者確保に繋がっている。			

後期基本計画に掲載されている事柄				平成28年度調査事項 (H27年度末の状況)						
3	歴史・文化を活かした地域づくりの推進	1	34311	郷土の歴史と文化について幅広い見識を持ち、文化財の保護と活用の中核となる人材を育成します。	地域において活動する歴史、文化活動グループ等と連携しその人材育成に努める。	1. 達成 (完了)	状況の説明	市内小学校の地域学習、高齢者教室、玉名市文化協会の活動等への出張を通じて、人材育成に努めた。		
			34321	伝統芸能は、保存団体とともに積極的な後継者育成を図ります。	次世代を担う子どもたちへの啓発事業に対して、玉名市神楽連絡協議会等と連携を図りながら積極的に支援する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	玉名市神楽連絡協議会、横島湯掛節保存会などの団体に補助金交付などを通じて支援を行った。		
			34331	感性を豊かにする知的で創造的な地域の芸術文化活動は、その発掘を推進します。	玉名市アーティストバンクを実施する。(音楽家、作家、画家等の芸術活動を行う人材を集積し登録する)また、芸術体験の機会を提供する。	2. 概ね達成	状況の説明	玉名市のホームページ等に掲載。アーティストバンクの登録者数をふやすため、文化協会等にも呼びかけ、推進を図っている。現在の登録者数は10件である。		
			34332	(地域の芸術文化活動は、)新たな担い手の育成に努め、補助制度などを活用した支援を実施します。	市独自の制度を活用し、芸術体験の機会を提供することにより地域の次の担い手に繋いでいく。	2. 概ね達成	状況の説明	玉名市アーティストバンクの登録者・団体を地域の担い手に体験の機会となるよう、市のホームページなどで公開しその活用を図っている。		
	5	国際交流の推進	1	35111	玉名国際交流協会をはじめとする民間の国際交流団体と協働での活動を実施します。	友好・姉妹都市からの訪問団の受入れの際に玉名国際交流協会とタイアップして歓迎会等を開催する。また、友好・姉妹都市への公式訪問の際は、協会より1名以上の参加を依頼する。	2. 概ね達成	状況の説明	平成27年度は玉名市市制施行10周年記念式典に合わせて、姉妹都市であるクラリダ市の公式訪問団を受け入れた。歓迎会や送別会には玉名国際交流協会からも多数の参加があり、2日目の夕食会では協会とタイアップしてバーベキューで訪問団をもてなした。	
					35112	市内在住外国人の生活支援のあり方について検討します。	玉名市在住及び転入された外国人の方々向けに英語標記の生活マニュアルブック(仮称)の作成を検討する。	6. 未着手	未着手の理由	近年、ITの急速な発展やグローバル化により、情報入手が容易となっている。そのため、本市独自の生活マニュアルブック(仮称)の作成は費用対効果が低いと考へる。代替として、(財)自治体国際化協会が作成した「多言語生活情報」の活用を進める。
				2	35121	米國クラリダ市と中国瓦房店市との姉妹・友好都市交流は、引き続き定期的な相互訪問を実施します。	姉妹・友好都市と引き続き定期的な相互訪問を実施する。具体的には、平成24年度に瓦房店市に公式訪問、平成26年度にクラリダ市に公式訪問、平成27年度に瓦房店市、クラリダ市から公式来訪を予定。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成24年度に瓦房店市、平成26年度にクラリダ市を公式訪問した。また、平成27年度にはクラリダ市からの公式訪問団を受け入れた。今後も引き続き、姉妹・友好都市とは定期的に相互訪問を実施する。
			35122			(米國クラリダ市と中国瓦房店市との姉妹・友好都市交流は、)教育、産業、文化、医療などの分野においての地域資源を生かした交流を推進します。	クラリダへの公式訪問時には教育交流の一環として市内の中学生を公費により同行させ、若年者の国際感覚と国際的視野の醸成を図る。また、本市の地域資源を生かした姉妹・友好都市との交流は、国際交流奨励補助金を支給し推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成27年度はクラリダ市から4名の公式訪問団を受け入れたが、国際交流奨励補助金を支給する案件はなかった。
			35211		外国語指導助手(ALT)を配置するための外国青年招致事業などを積極的に展開します。	JETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)によりALT(外国語指導助手)を招致し、小・中学生の語学力とコミュニケーション能力の向上を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	JETプログラムによりALTを中学校単位で6名配置している。特に中学校のスピーチコンテストでは彼らの力が発揮されネイティブなものとなっている。外国語指導事業：30,439千円 H27年度決算：29,932,584円	
			2	国際感覚豊かな人材の育成	35212	国際理解を深めることを手助けするボランティアの活用と育成に努めます。	国際理解を深めることを手助けするボランティアを募り、人材バンクという形で登録をし、学校教育の諸活動の中で活用する	6. 未着手	未着手の説明	具体的な計画が策定できていない。国際理解を深める観点からALT以外の人材及びボランティアの確保等、活用内容について検討・整理していく必要がある。
35221	海外での国際交流や外国人のホームステイを受け入れる市民に対し、活動経費の一部を国際交流奨励補助金により支援します。	市民が外国人のホームステイを受入れる際や、海外へ国際交流を目的として訪問する際は、その活動経費の一部を国際交流奨励補助金により支援する。				3. 進行中(後半)	状況の説明	平成27年度はアカデミックホームステイに参加した1名に国際交流奨励補助金を支給した。平成24年度から平成27年度までの補助金支援は連続して延べ135件、ホームステイの受入れで延べ54件である。		
36311	「音楽の都 玉名」にふさわしいイベントを積極的に支援します。	「音楽の都玉名」づくりプロジェクトチームで政策推進ビジョンを作成する。			2. 概ね達成	状況の説明	政策推進ビジョンに従い、各部署において事業を展開した。			
6	「音楽の都 玉名」づくり	3	36312	音楽をとおして、感性豊かな人間形成とまちづくり、芸術文化レベルの向上を目指す。	将来の担い手である、小中学生等にアウトリーチ事業を行う。	2. 概ね達成	状況の説明	市内小学校や保育所等29か所において、音楽家を招へし音楽にふれる事業を実施。この事業を通じ、感性豊かな心を育んでもらうとともに、「音楽の都 玉名」の推進を図った。		
				36321	「グレン・ミラー音楽祭in玉名」を実施する団体の活動を引き続き支援します。	「グレン・ミラー音楽祭」を実施する団体への補助を今後も継続する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	平成26年度から「グレン・ミラー音楽祭」の開催は実現できていない。引き続き、「グレン・ミラー音楽祭」を実施する団体への補助を実施していくが、まずは、実行委員会等の組織づくりに向けて、関係団体との協議や協力体制の強化に努める必要がある。	
			1	6次産業化の推進	41111	本市で生産する農林水産物を活かして生産から加工、販売までを実施する事業者を支援します。	平成28年度までに、本市の農林水産物を活用し、6次産業推進事業を20品目以上を目標とする。 ※6次産業推進事業補助金(平成23～平成28)	1. 達成 (完了)	状況の説明	交流会の開催内容については、委員会や関係者などから内容が固定化しているという指摘も受け試行錯誤を繰り返して開催に努めてきた。また地元市民の認知度も低いという指摘もあり、PRする対象者を考慮して交流会を開催した。
					41112	6次産業推進交流会を開催するなどして6次産業への参入のための環境整備を図ります。	玉名市内における1次産品を活用し、新たな地域産品を育成するため、各分野の交流及び情報交換などを目的に年間開催する。	2. 概ね達成	状況の説明	玉名市内における1次産品を活用し、新たな地域産品を育成するため、各分野の交流及び情報交換などを目的に年間開催する。
2	農産物の振興	41211	JJAや生産者代表などの関係者、市ブランド関係部署などと連携・協力し、更なる「玉名ブランド」の確立に向けて、消費者ニーズに対応した品種選定や高品質化技術の普及による生産を推進します。	玉名市の認知度を向上する目的で開催されている「玉名市認知度向上キャンペーン」に、6次産業者が自ら参加(出展)、販売会(市場調査・テストマーケティング)の場を提供する。	2. 概ね達成	状況の説明	6次産業者に対して、適宜催事イベントや商談会の情報を提供し、販路開拓の促進に務めた。成果としては、イベントや商談会に積極的に参加する事業者としない事業者が明確になった。			
			41212	大消費地などでのトップセールスや玉名フェアなどを開催して、農産物の消費拡大や知名度向上、「玉名ブランド」化に努めます。	6次産業推進の成果発表の場として、「6次産品フェア」を開催し、本市の6次産業及び6次産品の周知PRを目的に開催する。	2. 概ね達成	状況の説明	6次産業推進の成果発表の場として、「6次産品フェア」を開催し、本市の6次産業及び6次産品の周知PRを目的に開催した。		
		41221	県が進めている「くまもとグリーン農業」へこれまで以上に農家や団体などの参加を促し、化学肥料や農薬の低減と堆肥などの有機質の活用による環境にやさしい農業を推進します。	くまもとグリーン農業参加者のみが使用できる表示マーク(くまもんマーク)を使い、農家及び消費者に対し、くまもとグリーン農業自体の周知を図る。	1. 達成 (完了)	状況の説明	農家及び消費者に対し、くまもとグリーン農業自体の周知を図り、成果が見られたため初期の目的が達成したものと判断した。			
			41222	多様な機会を通じて農産物の地産地消の普及に努めます。	認定農業者を中心にイベントに参加し農産物の販売、PRを行い地産地消を図る。	状況の説明	状況の説明	産祭りの開催時の農産物出品には周知し、認定農業者から多数の出品参加がある。		

後期基本計画に掲載されている事項			平成28年度調査事項 (H27年度末の状況)			
3 農業基盤整備の推進	41231	県、周辺市町、関係機関、被害地域と連携、協力しながら実効性ある(有害鳥獣による)被害対策を推進します。	平成23年度の農作物被害総額である15,510千円から平成28年度末までに被害額を50%減である7,755千円以下とすることを目標として、玉名地域鳥獣被害防止対策広域連絡協議会を中心とした広域のかつ多様な事業を実施する。	2. 概ね達成	状況の説明 県、周辺市町、関係機関、被害地域と一体となった被害対策を実施してきた結果、前年度に目標は概ね達成できた。しかし、有害鳥獣の生息地の拡大に伴って被害地域の拡大が懸念されており、継続した被害対策の推進を行う。	
		41232	防護施設整備など(有害鳥獣による)被害軽減のための取組を図ります。	平成23年度の農作物被害総額である15,510千円から平成28年度末までに被害額を50%減である7,755千円以下とすることを目標として、県、県及び市の事業により効果的な防護施設整備を実施するとともに、玉名市有害鳥獣捕獲隊に年間を通じた捕獲業務委託をすることにより有害鳥獣の個体数調整を図る。	2. 概ね達成	状況の説明 国の補助事業である鳥獣被害防止総合対策事業により広域的な防護施設整備を実施したことにより目標を達成することができた。しかし、被害地域が拡大しているため今後も事業に取り組み広域的な防護施設整備を推進していく。また、先進的な捕獲方法による有害鳥獣の個体数調整も併せて実施していく。
	41311	基盤整備や農業用排水施設整備、農道整備などを推進し魅力ある農地づくりに努めます。	玉名市としては、補助事業を活用し、基盤整備により、区画等の整備を計画的に行い、その後農業用排水施設整備・農道整備を行い、優良な農地づくりに努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明 団体営農業農村事業の平成27年度末執行状況は、集落基盤整備事業全体事業費762,000,000円のうち、210,000,000円を実施している。農道整備事業については、県営事業にて扇崎水野下地区が全体事業費1,045,000,000円に対して、現在171,000,000円を執行している。なお、農業基盤整備促進事業については、暗渠排水事業補助事業が、地元からの要望に対して、達成度が約30%となっている。	
		41312	耕作放棄地の解消を進め、効率的かつ安定的な農業生産を目指す。	平成20年度から平成25年度の間、耕作放棄地の解消を促すため解消費用の一部を助成し耕作放棄地の解消を図る。	2. 概ね達成	状況の説明 耕作放棄地解消対策事業が始まって7年経過して解消発生が進み、件数こそ減少しているが今後も継続する。
		41313	恒常的な浸水が毎年見受けられる地区は積極的な排水対策の実施に努めます。	玉名市に23排水機場がある。供用開始からすでに25年以上の機場が16箇所あり、平成25年度から年1機場の更新採択に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明 受免、香崎、横島は、県営にて事業実施中。適正化事業については、平成27年度に塩浜排水機場が採択されている。今後も老朽化や劣化の危険性を勘案した優先順位により、各排水機場更新に向けた国県補助要請確保を進めていく。
	41321	海岸保全施設の整備を推進します。	玉名市の海岸保全施設の整備として、玉名横島地区は、国営事業で、岱岡・天水地区は、県営事業で継続的に整備を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明 国営造成事業については、平成26年度までの進捗率56.4%、平成30年度完了予定。県営事業については、平成26年度までの進捗率は、共和(76%)、高道(3%)、玉名海岸(34%)平成27年度農業農村整備事業管理計画より	
		41411	畜産農家への衛生管理の指導に努め、家畜伝染病の発生を防止を図ります。	平成26年度までの間、農業者の家畜防疫に要する経費の一部を補助し、発生時の被害が甚大な家畜伝染病を未然に防止する。	8. 評価不能	評価不能の理由 計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが難しいため。
	41412	消費者の信頼を得る安心安全な畜産物生産の推進に努めます。	県、農協などと共同で飼料、器具、繁殖、ふん尿処理など品質と生産の向上に繋がる情報提供発信を行う。	8. 評価不能	評価不能の理由 計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが難しいため。	
		41511	農業に関する情報発信の積極的な実施により、農業経営に意欲を持つUターンやIターンなど転入者の新規就農を促進します。	県、農協などと連携を密に取りながら農業に関する情報発信を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明 Uターン、Iターンなどの転入者が、新規就農につながった事例は発生していない。
			41512	多様な担い手の参入なども視野に入れ、地域との協働のもとに農業の受け皿づくりに努めます。	新規事業の実施により新規就農の増加を図る。また県、農協、地元農業委員の協力を得ながら、空き農地や圃、県の補助事業の情報提供を行う。	2. 概ね達成
41513	農業関係機関と連携し、認定農業者や農業後継者の育成を図ります。	担い手育成総合支援協議会(県、農協、農業委員会等)において、年度計画を作成し、認定農業者、農業法人、集落営農組合、新規就農者を支援、育成する。	2. 概ね達成	状況の説明 年度計画を作成し、認定農業者、農業法人、集落営農組合、新規就農者を支援、育成については、概ね達成したものと評価する。		
6 農産物の販路拡大	41611	補助事業などの制度を活用し、農産物の直売所を設置するなど農産物の販路拡大に努めます。	国及び県からの情報を収集し、関係団体等への情報提供を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明 ミカン、トマト、イチゴについて首都圏でトップセールス(販売促進対策会議)を実施している	
7 グリーンツーリズムの推進	41711	関連団体との連携による交流プログラムなどの開発を推進し、グリーンツーリズムの取り組み意向を持つ農家などの支援を図ります。	国、県から情報収集を行い、関係団体と連携し情報提供を行う。	8. 評価不能	評価不能の理由 計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが難しいため。	
8 森林の多面的活用と整備	41811	林道の維持・保全や利活用を図ります。	林道としての機能を失った路線の廃止も含め、管理林道の再編を行う。林道の維持管理は業務委託を行うことにより利用者の安全を確保する。自然公園内にある林道は、公園利用者のための案内標識の整備を行い利便性の向上を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明 林道の維持管理については、利用者の安全を確保できている。公園利用者のための案内標識については、関係団体等と設置場所の検討を行い、随時整備中である。また、林道の再編については、検討中である。	
		41821	不正な山林開発行為の防止を図ります。	森林の土地の所有者となった旨の届出制度、伐採及び伐採後の造林の計画の届出制度及び林地開発許可制度等を円滑に実施し、制度違反者への命令及び処分等を徹底し、不正な山林開発行為の防止を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明 県、関係団体等と山林のパトロールを実施し、不正な開発行為防止を図っている。無届の伐採等が確認された場合には、所有者への聞き取り等を実施している。また、各種制度の周知を広報誌等を利用して推進している。
	41831	林業を通じた管理が困難な森林や管理放棄された人工林については、針広混交林化や広葉樹林化など、公益的機能の維持・増進を図り、健全な森林づくりに努めます。	玉名市森林整備計画に基づき公益的機能の維持・増進を図るため、国、県、森林組合等で相互に連携を密にし、森林の主伐、間伐、保育及び伐採跡地への植栽等、適確な森林の更新を実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 人工林資源が利用可能な状況になりつつある中、適切な森林整備の推進を図るため、玉名市の実状に応じて森林整備計画が効果的に実施するように森林整備計画の変更を行った。	
2 水産業の振興	1 漁業・水産基盤の整備	42111	県や各漁協と連携して、漁場の管理と資源管理を中長期的な計画を実施し、覆砂、耕うん、稚魚の放流、有害物の駆除、堆積物の除去などの漁場環境の保全・整備を図ります。	県、各漁協と連携し、複数の補助事業を活用しながら漁場環境の保全・整備を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明 水産基盤整備交付金事業を活用し覆砂、耕うん、稚魚の放流、有害物の駆除、堆積物の除去を行った。これらの中長期的な展望に経った漁場環境の保全・整備を行っていく必要がある。
		42121	漁津などの漁業基地は、『水産基盤整備長期計画』に基づき整備を推進します。	「水産基盤整備長期計画」に基づき、施設の利便性と安全性の向上を目指し、漁港整備を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明 滑石漁港、大浜漁港(旧港部分)の泊地の浚渫を行った。
2 漁業生産の向上	1 漁業生産の向上	42211	水産物の生産性と品質の向上を図り、安心で安全な水産物の提供ができる漁場環境の整備を推進します。	各漁協と連携し、水産物の生産性と品質の向上を図り、安心な水産物の提供ができる漁場環境の整備を推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 各漁協に対して補助金を交付し、漁場整備やアサリ稚貝や稚魚の漁場放流等を行うと共に、県と連携したアサリ生息状況調査や漁協と連携した漁港漁場施設の清掃活動を行った。
		42221	稚魚放流事業の取組や魚類の産卵場の維持管理を促進し、河川本来の資源再生産力の復元に努めます。	菊池川漁業協同組合・菊池川流域市町と連携し、河川の資源再生に努める。	4. 進行中(前半)	状況の説明 菊池川漁業協同組合・菊池川流域市町で連携し、繁殖保護・人工稚魚中間育成・外来魚、カワウ等の駆除、漁場管理対策等を行いながら河川本来の資源再生、生産力の復元に努めている。

後期基本計画に掲載されている事柄			平成28年度調査事項 (H27年度末の状況)				
3 漁業経営の安定化の推進	1	42311	漁業者の高齢化対策や担い手の育成と確保のため、協業化を促進し生産体制の合理化を図ります。	県、各漁協と連携し、漁業者の高齢化対策や担い手の育成を進め、協業化し生産体制の合理化を図る。	8. 評価不能	評価不能の理由 計画達成が図られる具体的な計画目標を定めることが難しいため。	
		42321	補助事業の活用により(漁業)の生産体制の組織化を図るとともに、生産性の向上が図られるような共同施設の整備を推進します。	県、各漁協と連携し、生産体制の組織化を進め、生産性の向上のため共同施設の整備を推進する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 水産基盤整備交付金事業により、生産性向上を図るため、大浜漁港に設置してあるホイストレーンの不具合(傾き)の改修、及び旧港部分の物揚場の地盤沈下による満潮時の水没解消のため嵩上工事を行った。	
3 製造業・工業の振興	1 新規企業の誘致	43111	市内6箇所の工場適地のPR活動を更に積極的に実施するなどして優良企業の誘致に努めます。	毎年度1社以上の新規企業の誘致又は既立地企業の増設協定の締結を目指す。	4. 進行中(前半)	状況の説明 新規や既立地企業の増設について相談はあったものの相手方の希望する規模の用地がなかったり、インフラの未整備等で協定は実現しなかった。	
		43112	企業誘致拠点の有利性のある工業団地整備など、経済状況の改善など社会情勢の変化を見守りながら可否を判断します。	誘致しようとする企業が、どのようなインフラ整備を必要としているのか面談の中で情報収集に努める。	5. 着手	状況の説明 企業の海外設備投資は依然として増加傾向にあり、国内への投資もわがかなら増加見込みではあるが、誘致を進めるにあたってはインフラの整備や土地の状況等の好条件が求められるため、工業団地の整備は必要であると考えられる。	
	2 地場企業・起業家の支援	43211	高度な技術を習得するための研修会やセミナーなどの開催を支援します。	先端技術及び促進協議会の市町会員として、研修会やセミナーへ参加することで、企業の技術習得に繋げる。	5. 着手	状況の説明 荒尾・玉名・鹿本地域の中小企業及び企業の活性化を図ることを目的に、会員相互の連携をとりながら新規開発等を行うとともに、高度な技術を習得するため、中小企業大学校(人畜疫)へ合計2名、「ひのくに道場」へ合計3名の受講者に対し受講料の一部を補助した。	
		43311	公共職業安定所などと連携し、若者の地元就業や失業者の再就業を支援し、雇用機会の拡大を図ります。	公共職業安定所を訪問し、市内の雇用情勢及び状況等を把握するため、情報交換及び意見交換を行う。	3. 進行中(後半)	状況の説明 玉名公共職業安定所を定期的に訪問するとともに、情報交換並びに意見交換を行うことで、玉名地域の雇用状況の把握に努めた。	
	3 就業対策の推進	1	43312	若者の就業などの相談窓口である地域若者サポートステーションなども連携し、若い働き手の地元就業の機会拡大を図ります。	たまな若者サポートステーションと連携し、長期間にわたり仕事についていない若者の相談や支援プログラムを通しての社会参加を支援する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 たまな若者サポートステーションと連携し、取り組みや活動状況をホームページや広報誌まで告知することで、悩みを抱えてなかなか社会に出ることが困難な若者の、就労意欲の向上につながった。
			43321	企業が求める人材を育成するための研修会やセミナーを実施する団体を支援します。	玉名高等職業訓練校やポリテクセンターと連携し、人材育成に係る業務を支援する。	2. 概ね達成	状況の説明 玉名職業訓練校へ補助金を交付し、就業者のさらなる技能向上や知識等の習得を図ることで、人材育成につながった。
		2	43322	企業が求める人材を育成するための学習会やセミナーを実施する団体の支援を(除く)	企業に求められる技能や資格を取得することで、目標を持って就労に取り組むよう指導する。	6. 未着手	未着手の理由 ポリテクセンター熊本を訪問し、就職支援研修の状況や市主催での就労セミナー開催を相談したところ、荒尾ポリテクセンターで同業務を実施されており、重複するため必要性が無いと判断し中止した。
			43331	高齢者のニーズを踏まえた就業支援を実施します。	高齢者の雇用機会を拡大するためのシルバー人材センターへ補助金を支給し、高齢者等就業支援センターでは、技術習得や余暇充実の講座を実施する。	3. 進行中(後半)	未着手の理由 シルバー人材センターへほしきんを支給し、センターの運営安定を図ると、高齢者就業支援センターでは、技術習得や余暇充実のための講座を開講した。
	4 商業の振興	1 商店街・商業者の支援	44111	商業者などを対象にした各種研修会の開催(を推進します。)	商業者を対象に国の制度等の情報提供を行い、また、新たな事業を積極的に取り組み、商工業者の意識の向上や活性化を推進する。	1. 達成(完了)	状況の説明 商工業の振興に関する国の制度や政策等については、ファックスやメール等を活用し商工会議所、商工会、地域商店会等へ積極的に情報提供を行った。
			44112	経営支援、創業支援、市街地に点在する空き店舗や空き地の再生、活用など、商業の総合的な改善を推進します。	地域商店街の活性化を図るため、市街地に点在する空き店舗や空き地の状況を把握し、総合的な改善を推進する。	2. 概ね達成	状況の説明 創業・新規開業を計画されている方、創業して間もない方を対象に、必要な知識やノウハウを体系的に習得できる実践的なカリキュラムのセミナーを平成28年2月に開催し、4名の参加があった。
44121			商工会議所や商工会など関係団体を支援します。	経済団体の核となる玉名商工会議所、玉名市商工会を財政的に支援し、本市の商工業及び経済の発展に努める。	達成(完了)	状況の説明 玉名商工会議所、玉名市商工会へ補助金を交付することで、市内商工業者の発展、振興につながった。	
44131			個性的で魅力的な商店街の形成や機能的な市街地空間の創出に努めます。	商店街のそれぞれの個性や特色を情報発信する方策を講じ、魅力的な商店街を形成する。	2. 概ね達成	状況の説明 高瀬商店会、西部地区繁栄会、Hotほっと7ペーユにおいて「玉名市商店街イベント事業助成金」を活用し、地域の特色を活かしたイベントが開催された。	
44132			商店街の空き地や空き店舗を有効に活用する方策を引き続き検討し、実施可能なものから適宜、実施します。	地域商工業の活性化に寄与するため、商店街に点在する空き地や空き店舗の有効活用を関係機関と連携し検討する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 亀甲商店街組合において魅力的な商店街づくりを推進し、商店街の活性化を図るため、玉名市商店街空き地空き店舗対策事業補助金を活用し、飲食店(居酒屋)を誘致した。	
2 商業活性化の推進			44211	玉名の恵みを取り入れたイベントを開催します。	イチゴ、みかん等の期間限定の農産物、水産物をイベントの中でPRし、玉名の地域資源を生かした商業の活性化を図る。	2. 概ね達成	状況の説明 6次産業推進室や農林水産政策課と連携し、いちごやみかん等の期間限定の農産物を渋谷フェスティバル等で販売した。
		44212	新たな顧客づくりのための支援を実施します。(※上記のイベントの開催を除く)	トマト、イチゴ、みかんなどを取り入れた玉名ブランド認定品パンフレットを作成し、新たな顧客確保を図る。	1. 達成(完了)	状況の説明 平成25年度に玉名ブランド認定品のパンフレットを4,000部印刷しているため、引き続きPR及び配布を行った。	
		44213	温泉や歴史、文化、まちなみなど玉名の地域資源を活かした商業の活性化を図ります。	「高瀬裏川花しょうぶまつり」、「玉名温泉まつり」などのイベントを継続的に取り組み、商業の活性化を図る。	1. 達成(完了)	状況の説明 高瀬商店会、西部地区繁栄会、玉名温泉において玉名市商店街イベント事業助成金を活用し、地域の特色を活かしたイベントが繰り広げられた。	
		44221	沿道緑化、街灯整備、ファサードなどの整備を推進します。	商店街が取り組む街灯整備等を積極的に支援し、安心・安全な街づくりを推進する。	達成(完了)	状況の説明 地域住民の安心安全な生活環境を守るため、商店街まちづくり補助金と玉名市商店街共同施設助成金を併用し、4商店会の街路灯並びに防犯カメラの整備を行った。	
3		44231	地域のまちづくりと一体となった商店街づくりを推進します。	商店街の活性化に資する地域のまちづくりの一環として開催されている各イベントを支援する。	1. 達成(完了)	状況の説明 高瀬商店会、西部地区繁栄会、Hotほっと7ペーユにおいて玉名市商店街イベント事業助成金を活用し、地域の特色を活かしたイベントが開催された。また、玉名商工会議所が主体となり、「玉名納涼花火大会」が開催され、約70,000人の来場者で賑わいをみせた。	

後期基本計画に掲載されている事柄		平成28年度調査事項 (H27年度末の状況)						
4	44241	大型商業施設の跡地や市街地に点在する遊休地については、都市政策や街なか居住を推進し市街地機能の充実を目指します。	大型商業施設の跡地は玉名市中心市街地活性化基本計画に沿って活用を図る。また、市街地に点在する遊休地は、今後の居住推進に向けた活用を推進する。	6. 未着手	未着手の理由 旧中活法の抜本的な見直しが行われ、新法では市街地整備、商業等の活性化、都市福利施設整備、住宅共有、居住環境の4項目に加え公共交通機関の利便事業が追加され、新幹線周辺整備、玉名バイパス整備、新幹線各建設等も含め総合的な企画調整が必要であったため。			
		44251	食料品などの日常生活必需品の買い物などが容易にできるような、高齢社会にも対応した人にやさしいまちづくりを推進します。	生活必需品等の買物に不便を感じる高齢者が増えている。市内の「買物弱者」に対する課題を把握するとともに、今後の対応と方向性を検討する。	6. 未着手	未着手の理由 「買物弱者」については、福祉並びに高齢者支援の観点から、現状に鑑みていないため。実施していない。また、協業化についておらず、今後の方向性が決まっていない。		
		44261	にぎわいがあり人の生活に便利な商店街を目指して、店舗の共同化や協業化を支援します。	商店街各店舗の共同化や協業化を図ることにより、便利な商店街でつくりを検討する。	未着手	未着手の理由 共同化については九州新幹線玉名駅開業時に検討を図ったが、実現に至らなかったため、実施していない。また、協業化についても具体的な方向性が見えていない。		
		44271	商業地、商店街などで取り組む各種イベント事業や販売促進事業など、がんばる商店街を支援します。	市内商店街において各種イベントを開催することで、地域コミュニティとしての商店街づくりに取組み併せて販売の促進及び活性化に努める。	概ね達成	状況の説明 高瀬商店会、西部地区繁栄会、Hotぽつと7ペニーにおいて「玉名市商店街イベント事業助成金」を活用し、地域の特色を活かしたイベントが開催された。		
		3 消費者の保護の強化	1	44311	関係団体と連携して市民の消費者トラブルの解消や消費生活における安全確保に当たります。	熊本県消費者施策の推進に関する基本計画(平成25年度～平成29年度)の目標である消費者被害の未然防止・消費者被害防止への適切な対応を推進するためにも、関係団体との連携により消費生活における安全の確保に当たる。	3. 進行中(後半)	状況の説明 ・相談件数1千件以上、新規も増えており継続が必要。職員は常時非常勤2名、必要ときに市職員、弁護士が同行。 ・相談は深入りして探っていくしかなく専門性も要求される。PIO-NET(全国消費生活情報ネットワーク・システム)で国民生活センターと消費生活センターがネットワークされており、相談内容や業者など情報共有が進められている。 ・市民が消費者トラブルにより生活困難に陥らないよう見守りが求められる事業である。
		44312	(関係団体と連携して市民の消費者トラブルの解消や消費生活における安全確保のための)普及啓発を推進します。	熊本県消費者施策の推進に関する基本計画(平成25年度～平成29年度)の目標である消費者被害の未然防止・消費者被害防止への適切な対応を推進するためにも、関係団体に対して消費者トラブルの解消に向けた普及啓発活動を推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明 ・相談件数1千件以上、新規も増えており継続が必要。 ・職員は常時非常勤2名、必要ときに市職員、弁護士が同行。 ・相談は深入りして探っていくしかなく専門性も要求される。(全国消費生活情報ネットワーク・システム)で国民生活センターと消費生活センターがネットワークされており、相談内容や業者など情報共有が進められている。 ・市民が消費者トラブルにより生活困難に陥らないよう見守りが必要な事業である。		
		5 観光の振興	1 広域観光ネットワークの推進	1	45111	近隣市町をはじめ菊池川温泉郷など県北全域との連携を図り、魅力ある地域資源を活かした広域観光ルートの開発と商品化を図ります。	菊池川流域自治体と連携強化し、九州、関西等へ県北広域の観光PRを行い誘客を図る。また、島原半島等、歴史・物語や交通インフラ等につながる観光連携を拡大する。	1. 達成(完了)
2	45121	観光振興基本計画を策定し、観光地間のアクセシビリティの向上や観光資源の整備に努めます。	観光振興計画を策定することで、玉名固有の資源を有効的・効果的に活用する手法を観光関係者と連携を図り確立する。	1. 達成(完了)	状況の説明 平成25年3月に「玉名市観光振興計画」を策定。策定後は、観光関係者を任意で定期的に招集する「玉名観光戦略会議」において、振興計画の観光戦略会議に「観光プラン」の進捗状況の確認及びワークショップや意見聴取を行った。			
2 観光情報の充実	1	45211	外国語標記も含めてすべての人に分かりやすい誘導サインなどの整備を図ります。	観光地や観光施設などへのスムーズな案内を促すため、多言語表記や、拠点施設におけるサインを整備する。	1. 達成(完了)	状況の説明 昨年度に引き続き老朽化し危険度が高く存在意義が薄い屋外広告塔について、玉名駅前モニュメントの修理塗り替え、菊池インター側電光掲示板を刷新し玉名ブランドロゴの追加、LED化を行った。		
2	45221	観光ホームページや観光パンフレットの充実を図ります。	観光ホームページや観光パンフレットの充実を図るため、着地型観光パンフレット、観光ターゲットマップを作成する。	1. 達成(完了)	状況の説明 市HPのリニューアルに合わせ観光ページも一新。観光パンフレットについては、年間を通して利用できる総合パンフレットの修正のほか、幅広い観光客のニーズと着地型観光プログラムを意識した旬な観光情報を提供する春・夏号、秋・冬号を作成した。			
2	45222	玉名温泉街をはじめ主だった観光地・観光施設、イベント・祭りなど新鮮で幅広い観光客のニーズに対応した情報の提供に努めます。	新鮮で幅広い観光客のニーズに対応した情報を提供するため、着地型観光パンフレット、観光ターゲットマップを作成する。	2. 概ね達成	状況の説明 市HPのリニューアルに合わせ観光ページも一新。観光パンフレットについては、年間を通して利用できる総合パンフレットの修正のほか、幅広い観光客のニーズと着地型観光プログラムを意識した旬な観光情報を提供する春・夏号、秋・冬号を作成した。			
3	45231	「観光ぽつとプラザ[たまらう]」を拠点として、玉名をはじめ県北地域の情報発信に努めます。	ターゲット毎のPRの設計、ターゲット毎の観光キャンペーン・観光セミナーの開催、福岡県・熊本県のメディアへの情報発信を行う。	1. 達成(完了)	状況の説明 補助金、助成金、委託事業を積極的に活用し、県北の近隣市町と連携し、県北の観光施設として情報発信するだけでなく、玉名市キャンペーンレディを活用した観光PRやポータルサイト「たまらう」並びにICT(スマホ・ブログ等)を活用した情報発信に努めた。			
3 特産・物産品の開発と販路拡大	1	45311	玉名ブランド認定品を推奨します。	玉名ブランド認定品29品目を各種観光物産展において紹介、販売し、認知度の向上に努める。ラジオ、テレビ、雑誌の視聴者プレゼントなど、機会あることに提供し、認知度の向上に努める。	1. 達成(完了)	状況の説明 「渋谷フェスティバル」、「関西ふるさとフェア」、「広島フワフワフェスティバル」など都市圏で開催されるイベントへ出展し、県外の顧客へPRすることで、玉名の認知度向上に努めた。また、その際に新聞やテレビ等の各メディアをとおし、広告宣伝や視聴者への商品提供を行った。		
2	45312	新たに地域ブランド推進による地域振興を図ります。	今後の玉名の地域発展のための活動の御旗とするため、ブランドメッセージやロゴ等を市民提案型にて作成する。	1. 達成(完了)	状況の説明 平成25年3月に「玉名市ブランド化戦略プラン」を策定。企業のマーケティング手法を用いて「地域づくり・まちづくり」に活用。市民投票によるブランドロゴ・ステートメントを作成した。「キラリかやけ」は、名刺のロゴや各イベント名の冠として活用。			
2	45321	販路拡大のため、ブランド認定品などを地域イメージと結びつけ県内外のイベント出展や商談会、チラシなどでPR活動を行います。	「玉名と言えば〇〇。」と言われるように、地域イメージとしての定着を目指し、各種イベントや物産展、商談会などに積極的に参加し、販路拡大に努める。	1. 達成(完了)	状況の説明 関東、関西、福岡方面で開催される物産展等の催しへ参加し、ブランド認定品、物産品のPRに努めた。また、3市(玉名・山鹿・菊池)合同により開催された「第4回九州食の商談会」へ参加し地域のブランド認定品、物産品の売り込みを行った。			
4 観光資源の魅力創出	1	45411	健康志向が高まる中で薬草などの地域資源を使った観光商品の開発(に努めます。)	温泉、薬草料理等を活用し、九州看護福祉大、小岱山薬草の会、温泉組合等が連携し、美と健康をテーマにした観光商品開発を実施する。	4. 進行中(前半)	状況の説明 各関係団体と連携して「美・健康・癒し」をテーマにした観光商品の開発実現に向け、体験プログラムとしての方向性について協議を行うとともに旅行会社にも観光商品となりうるか助言を求められているが、実現に至っていない。		

後期基本計画に掲載されている事柄			平成28年度調査事項 (H27年度末の状況)								
5	いきいきと暮らせる福祉のまちづくり	1 保健医療体制の充実	1 健康づくりの推進	45411	玉名飯沼治場など九州看護福祉大学などとも連携を図り「玉名へまた来たい。」と想っていたけりしくみづくりに努めます。	九州看護福祉大学の鍼灸診療と玉名温泉の各旅館と連携を図り、健康と癒しをテーマにした体験型観光の推進を図る。	6. 未着手	各関係団体と連携して「美・健康・癒し」をテーマにした観光商品の開発実現に向け、体験プログラムとしての方向性について協議を行うとともに旅行会社にも観光商品となりうる助言を求めているが、実施に至っていない。	未着手理由		
				45411	観光地や温泉旅館などでの「おもてなし」を通じ観光客のニーズを踏まえた玉名のリーピーター増加を促進します。	観光関連事業者向けに接遇やおもてなし力向上の講座を開催する。	1. 達成 (完了)	観光関連事業者に対し接遇やおもてなし等、テーマに沿った講師を招聘して直接学び体験し交流する講座・講演を開催した。また、国・県・民間事業者が主催する講演会やセミナー等についても情報を共有した。	状況の説明		
				45421	関西以西をターゲットに観光客誘致キャンペーンを展開し、誘客に努めます。	大阪、広島、福岡をターゲットに観光キャンペーンや観光セミナーを開催する。	1. 達成 (完了)	ターゲット地域である関西以西と福岡都市圏においては、特に重点的にチラシ・パンフ等をイベント時に配布・送付し、ターゲット地域の旅行会社・メディア媒体等に対しては、直接訪問して観光キャンペーンを実施した。	状況の説明		
				45431	多様なメニューの商品化を目指しハード・ソフト両面での受け入れ態勢の整備を図ります。	観光の拠点施設におけるバス駐車場、トイレ、会議スペース等を整備する。	4. 進行中 (前半)	常設としてのハード面での整備はできていないが、本市の集客力のある主なイベント開催時には、臨時バス駐車場、臨時トイレ、会議スペース等を設置し、受け入れ態勢の整備を行った。	状況の説明		
				45432	歴史、文化、自然、景観、食、スポーツ、環境など、あらゆる観光資源を活かした観光メニューの開発に努めます。	新しい観光素材を探るのではなく、すでにある観光資源をブラッシュアップし組み合わせることにより着地型観光商品開発を拡大させる。	2. 概ね達成	玉名市商工会・熊本県立大学・玉名観光協会と産学連携による体験プログラム「旬たまたWE EK」に着手し、「玉名市ならではの着地型観光商品を開発した。	状況の説明		
				45433	山間部や海岸部などの地域ごとの特色と産業を活かした体験型メニューも創出し、広域観光ネットワークの充実を努めます。	健康志向の高まりに対応したウォーキングやトレッキング、また、県北唯一の海水浴場等の観光メニューを開発する。	2. 概ね達成	既存のJRウォーキング、草枕ウォーキング、海水浴場開設の支援に加え、小岱山では初となるトレイルラン大会を開催。県と本市で初となるフットバスコース(元玉名コース)達成も行った。	状況の説明		
				45441	各産業・各業種の団体などに対して観光協会への協力や加入を呼びかけ、幅広い視点をもった観光協会の充実を目指します。	観光関係のネットワーク化(観光関係団体との交流・連携、他地域の連携)、また、収益事業の一環として、法人格取得等協会の体制強化を図る。	1. 達成 (完了)	玉名観光協会は、玉名市観光振興計画の主体的推進母体として、市内の観光関係団体・民間事業者等との連携を強化するとともに「信用ある持続可能な強い組織」を目指し法人格を取得。会員も年々増加しており、観光協会としての体制強化を図った。	状況の説明		
				45451	玉名温泉観光旅館協同組合を中心に、観光協会、商工会議所、商工会、商店街などと一掃に活性化を推進します。	既存のJRウォーキング、草枕ウォーキング、海水浴場開設の支援に加え、小岱山では初となるトレイルラン大会を開催。県と本市で初となるフットバスコース(元玉名コース)達成も行った。	2. 概ね達成	玉名市商工会並びに玉名観光協会と連携して開催している着地型体験プログラム「旬たまたWE EK」に旧玉名市の街歩きガイドと和菓子体験を組み合わせたメニューを新規で開発。さらに熊本県立大学も参画して玉名市全体を周遊する仕組みづくりに着手した。	状況の説明		
				5 国際観光への対応	1 健康づくりの推進	45511	観光協会や温泉旅館などの関係団体と連携し、外国語表記のパンフレット作成やわかりやすい案内板などの整備を推進します。	多言語表記、着地型観光パンフレット、観光ターゲット別マップを作成する。	1. 達成 (完了)	外国人目線による多言語(英語・韓国語・中国繁体字)観光パンフを作成するとともに、本市を周遊する多言語観光音声ガイドを導入。多言語観光音声ガイドに対応したマップも作成。	状況の説明
				5	いきいきと暮らせる福祉のまちづくり	1 保健医療体制の充実	1 健康づくりの推進	51111	支援が必要な方には、随時、保健、医療、福祉、教育、地域などの関係機関と連携を取り、健やかに暮らせるよう調整支援していきます。	支援が必要な方に関係各課や関係機関等と連携強化を図り調整支援に努める。	3. 進行中 (後半)
51112	保健、医療、福祉、教育、地域などの関係機関と連携のしくみを充実させていきます。	市民には、その人に必要なサービスを調整支援し、ネットワークづくりとしては、有明地域保健医療福祉連携会議や玉名市健康づくり推進協議会等場で相互連携強化を図る。	3. 進行中 (後半)					広域のネットワークとしては、子育て支援センターとの情報交換会や若い世代の子ども支援会議等で相互連携を強化した。	状況の説明		
51113	市全体では、健康づくり推進協議会、食育推進連携会議、有明保健医療福祉連携会議などの活用により、関係機関の相互連携を図り、健康づくりの輪を拡充します。	健康づくり推進協議会、食育推進連携協議会等を通じて連携の輪を広げ、市民の健康的な生活を支援する。	3. 進行中 (後半)					保健センターで実施している健康づくり施策について、関係機関と保健事業の実施内容、課題等について共有、協議し、相互連携を確認した。	状況の説明		
51121	「心身に障がいを持つ人とともに生きる地域づくり」を目指し、地域活動を推進します。	障害者虐待防止法や熊本県障害のある人もない人もともに生きる熊本づくり条例を踏まえ、差別をなくし人権に尊重した地域をつくる。	2. 概ね達成					障害者差別解消法の啓発活動を含め窓口にてチラシの配布、事業所を対象とした研修会を行った。	状況の説明		
51131	関係機関と連携して予防接種率の向上と安全な予防接種の体制づくりに努めます。	予防接種法に基づき関係機関と連携し、また対象者へ周知を図ることにより、適正および安全に予防接種ができる体制を整備する。	2. 概ね達成					①玉名都市医師会、委託医療機関を対象に説明会を開催し、過誤防止等の適正な予防接種実施への関係機関への周知を図った②個人別接種予約からシステム管理し、予防接種台帳として管理し、過誤防止に努めた③予防接種対象者に広報・育児学級、育児相談、乳幼児健診・教育委員会の協力にて周知、啓発し接種動員を図った④予防接種実施にあたり、委託医療機関の広域化を図ることによって接種の機会を幅広く対象者の利便性に努めた。	状況の説明		
51141	幼児期からのフッ化物洗口による虫歯予防を推進します。	現在、玉名市内幼稚園・保育園26園中10園での実施(38.5%)。公立保育所全園未実施の状況のため、全園実施を目指し推進活動を行う。	2. 概ね達成					現在、玉名市内幼稚園・保育園26園中22園での実施。(実施率:84.6%)。全園実施を目指し推進活動を行う。	状況の説明		
51142	壮年期における歯周病検診を実施します。	壮年期における歯周病検診を人間ドック、よい歯の広場、食育フェアにて継続的に行う。	2. 概ね達成					壮年期における歯周病検診を人間ドック、よい歯の広場、食育フェアにて継続的に行う。	状況の説明		
51143	学校教育においては、児童・生徒の虫歯予防と健康教育を推進するため、食後の歯磨き習慣や必要に応じた虫歯治療を推進します。	すべての学校において健康教育全体計画及び年間指導計画、学校保健全体計画、学校保健年間計画を作成し、発段階に応じた適切な保健指導を行う。	1. 達成 (完了)					平成25年度からすべての学校で健康教育全体計画及び年間指導計画、学校保健全体計画、学校保健年間計画を策定している。それに基づき、発段階に応じた保健指導を行っている。	状況の説明		
5	いきいきと暮らせる福祉のまちづくり	1 保健医療体制の充実	1 健康づくりの推進	51151	食生活改善推進員は、随時食や健康に関する研修により技量を高め、地元地区での伝達活動を実施し、市民に食と健康の輪を拡充します。	市民一人ひとりが健全な食生活を実践できるよう、推進員が食を中心とした健康づくりを地域へ普及・推進するためのボランティア活動が、充実するよう支援する。	2. 概ね達成	外食や調理済み食品の増加や食生活も多様化して便利になった一方で野菜摂取量が不足している。食生活改善推進員が食を中心とした健康づくりを地域へ普及・推進するためのツールとして「かんたん野菜料理レシピ集」を作成した。	状況の説明		
				51161	家庭、保育所、幼稚園、学校、生産者、流通、消費者など多様な関係者との連携を深め、市民が食に関する正しい知識を身につけて健康的な食生活が実践できるよう取り組みます。	子どもから大人まで全てのライフステージにおいて、食に関する知識や理解を高めながら食べる力、生きる力を身につけて、実践できるよう、関係機関と連携、協力して食育を推進する。	2. 概ね達成	「第2次玉名市食育推進計画」に基づき、食に関する知識や理解を高めながら食べる力、生きる力を身につけて、実践できるよう関係機関と連携協力して食育を推進した。	状況の説明		

後期基本計画に掲載されている事項		平成28年度調査事項（H27年度末の状況）							
7	51171	保健センターの機能を充実するため、安心して相談できる場の確保や支援すしめと内容を充実するとともに、スタッフの質を向上します。	市民が安心して相談できるように各種事業における場の確保や周知、内容充実、スタッフの質の向上に努める。	3. 進行中（後半）	状況の説明 市民の身近な場所で安心して相談ができるように玉名保健センターや各支所の保健センター及び各施設を有効利用して各事業を実施したり、家庭訪問等の支援を行った。スタッフの質の向上に関しては、各種研修会の参加や自主学習会等自己研鑽に努めた。				
		51181	事務事業見直しを適宜行い、住民に直接関わることのできる保健師と栄養士の地区担当制を充実させ、実態に即応した保健活動を実施します。	母子から成人まで必要な対象者に迅速に丁寧に開けが持てるように、対象者把握に努め対応できるように事務事業の見直しに努める。また、地区診断による地域ニーズにあった保健活動の充実を図る。	3. 進行中（後半）	状況の説明 保健師・栄養士ともに地区担当制をとり、母子から成人までの各事業において必要な支援の把握に努め、緊急性を勘案し、タイムリーで適切な支援を心がけ、市民が安心して生活できるよう援助した。			
		51191	気軽に相談できる体制づくりを強化し、相談支援事業所や関係機関などと連携をとり、心身の健康づくりを推進します。	既に着手している。今後以降がいのある人やその家族の悩みや相談に対処し、障害のある方の暮らしを支援する。	2. 概ね達成	状況の説明 有明圏域相談支援事業として社会福祉法人等に委託し、気軽に相談できる環境を整備している。			
		511A1	総合的に対応する相談体制の構築を図り、自殺対策を推進します。	既に着手している。今後とも啓発活動や相談支援を充実させ、自殺者の減少に取り組む。	2. 概ね達成	状況の説明 臨床心理士相談会を年18回開催し、心の健康づくりに努めた。相談枠に対し、利用が半数程度であったため相談会の周知方法を検討する必要がある。			
		2	1	51211	県保健医療計画に基づき、有明保健所、管内救急指定病院、医師会、消防関係などと連携を図り、夜間や休日の救急患者への対応体制の整備に努めます。	市民の健康と安心を確保するため、関係機関と連携し、夜間・休日の救急患者への対応体制を充実を図る。	3. 進行中（後半）	状況の説明 有明地域の救急病院や公立病院の運営及び、玉名都市医師会等への休日・夜間診療体制整備のための補助を実施した。	
2	1	保健活動の推進	1	保健活動の推進	51221	公立玉名中央病院の医師を確保する対策の一助として、医師就学資金貸与制度の設立について関係機関に要望します。	公立玉名中央病院の医師を確保する対策の一助として、医師就学資金貸与制度を設立し医学生を確保できるよう関係機関に依頼する。	1. 達成（完了）	状況の説明 平成24年4月から玉名中央病院企業団に、医師として公立玉名中央病院に勤務し、本市の地域医療に貢献しようとする医学生を対象に修学資金の貸付事業を実施している。平成27年度末現在：2名 平成28年度から1名追加予定
					51231	ターミナルケアの充実のための議論を深めます。	ターミナルケアの充実のため、公立玉名中央病院において議論を深めていただくよう、適宜、要請する。	1. 達成（完了）	状況の説明 公立玉名中央病院において、緩和ケア認定看護師を置いた化学療法認定看護師の増員などが計画的に実施され、ターミナルケアの充実が図られている。
					51232	公立玉名中央病院において、がんの治療法として手術や放射線治療と同様に非常に有効な抗がん剤の使用による化学療法の充実を公立玉名中央病院に要望していきます。	公立玉名中央病院において、がんの化学療法の充実を図っていただくよう、適宜、要望する。	1. 達成（完了）	状況の説明 公立玉名中央病院において、内科医を中心としたがん患者の緩和ケアチームの取組などが計画的に実施され、がんの化学療法の充実が図られている。
					52111	家庭訪問、健康診査、育児相談、母子保健推進員活動などを実施し、ケースに応じた保健指導・支援により母子保健の向上を推進します。	乳幼児が健やかに発育発達し、保護者が安心して子育てできるように、あらゆる母子保健活動の中で、保護者の育児力形成へつながる保健指導に努める。特に乳幼児訪問指導と各乳幼児健診受診率の向上・維持を図る。	4. 概ね達成	状況の説明 要観察となる乳幼児や育児不安を抱える親からの相談が増加しており、健診や電話・訪問相談を通じた個別指導の充実を図る。
					52121	総合計画、食育計画、次世代育成計画、特定健康診査等実施計画を含む「健康玉名21-健康なまちづくり計画」を策定します。	玉名市に住むすべての人が、心身ともに健康で自分から暮らせるよう、各ライフステージ毎のヘルスプランと、地域全体の健康度を上げるための地域づくり施策を盛り込んだ計画を策定する。	1. 達成（完了）	状況の説明 平成27年度は、保険年金課と共に、データヘルス計画を策定した。
3	1	腎機能重症化防止を図り、慢性腎不全による透析導入への進行を阻止し、新規透析導入患者を減少させます。	52131	人工透析導入への進行を阻止するため、慢性腎臓病（CKD）該当者への保健指導実施率の向上を図る。更に、慢性腎臓病予防のための啓発及び関係機関との連携を推進する。	3. 進行中（後半）	状況の説明 平成27年度末現在で、慢性腎臓病（CKD）該当者への保健指導実施率は31.7%である。27年度は地域の腎専門医の助言を得ながら保健指導スタッフ学習会を2回実施した。また、都市医師会と連携し、医師会報等でCKD対策の取組を地域に啓発している。			
				52132	慢性腎臓病（CKD）に伴う循環器疾患（脳血管疾患、心筋梗塞など）の発症の抑制を図ります。	心血管系疾患（脳血管疾患、虚血性心疾患等）の重症化予防のため、高血圧・高血糖該当者への保健指導の実施率の向上を図る。更に、慢性腎臓病予防のための啓発及び関係機関との連携を推進する。	3. 進行中（後半）	状況の説明 平成27年度末現在で、Ⅲ度高血圧該当者に対する保健指導実施率は66.0%、Ⅱ度高血圧該当者では34.2%である。	
				52133	各ライフサイクルに応じた長期にわたり進行する腎疾患を早期に発見するために、生涯にわたり継続して予防できる体制を整備します。	胎生期（妊婦期）から生活習慣病を予防するため、妊婦健診結果から妊婦糖尿病、妊婦高血圧症候群、貧血該当者への保健指導の実施を図り、若人健診等へつなげる。	3. 進行中（後半）	状況の説明 母子手帳交付時の聞き取りを通して、検査結果の説明や受診の必要性の説明を行った。また、健診を受ける機会がない親世代に対し、市で実施している若人健診、若人国保人間ドックの案内を実施した。	
				52141	特定健診などの受診率の向上を図ります。	生活習慣病の発症予防及び重症化予防のため受診勧奨を行う。	3. 進行中（後半）	状況の説明 各種団体及び広報等のあらゆる機会を通して、受診の必要性の説明を行った。また、18～39歳の市民を対象に若人健診及び若人国保人間ドック、保健指導を実施し、生活習慣病の発症予防に努めた。玉名スポンサーと連携し、受診者へハローポイント1000進呈し受診勧奨の協力を得た。健診受診者への結果説明会の実施、未受診者訪問・重症化予防対象者訪問を実施した。	
				52142	がん検診などの内容の充実を図ります。	近年継続して死亡原因の1位を占めているがんを早期に発見し早期治療することで、手遅れによるがん死を防ぐため、より多くの市民への啓発を行ない、受診率の向上及び内容の充実を図る。	2. 概ね達成	状況の説明 乳がん・子宮頸がん検診を隔年から毎年助成の体制を整備した。また、医療機関の実施期間を延長し、未受診者への受診再勧奨にも努めた。	
52143	特定健診の新規受診者の掘り起しを積極的に実施します。	脳血管疾患死亡率の減少、虚血性心疾患死亡率の減少、糖尿病腎症による新規透析導入患者数の減少のため、受診率の向上を図る。	4. 進行中（前半）	状況の説明 校区区長や民生委員等の各種団体への説明、ひまわりテレビや市民課窓口での受診勧奨モニター放映、医療機関への説明等を実施した。					
3	1	子育て支援の充実	1	子育て支援の充実	53111	延長保育事業、一時預かり事業、放課後児童健全育成事業などを推進します。	保護者の保育ニーズに対応し、延長保育や一時預かり事業を実施することで、子育てにおける負担軽減や仕事と子育ての両立支援を行う。就労等のため中、保護者が家庭にいない小学生を放課後に児童クラブで預かり、適切な遊びと生活の場を提供する。	2. 概ね達成	状況の説明 放課後健全育成事業については、全21小学校校区を対象に14クラブで実施し、485人の児童が利用した。保育所・認定こども園2箇所で、延長保育事業1箇所に、一時預かり保育事業を6箇所で実施した。
					53121	（子育て支援の）情報発信や相談の窓口となる地域子育て支援センターなどを中心に、子育て支援団体などとのネットワーク化を推進します。	地域子育て支援拠点施設の活動を軸に、こそだてのわ会議の場を通して子育て支援団体との情報の共有と発信を行うとともに、活動支援を行う。	2. 概ね達成	状況の説明 地域子育て支援センターを中心にこそだてのわ会議を定期的に開催し、関係団体との連携と情報共有を図ることができた。また、市民や関係団体向けに「子育てハンドブック」などを作成し、情報発信も行うことができた。
					53131	ファミリーサポートセンターや病児・病後児保育など、子育てを支える事業の充実を図ります。	ファミリーサポートセンターや病児・病後児保育など、子育てを支える事業について、さらにニーズに応じた内容の充実を図る。	2. 概ね達成	状況の説明 ファミリーサポートセンターについては協力会員の増加に努め、また、病児・病後児保育についても26年度から利用定員を1人増やし、変入体制の充実を図った。



後期基本計画に掲載されている事柄		平成28年度調査事項 (H27年度末の状況)					
2 障がい者支援の充実	4	53141	ひとり親家庭などの生活の安定と自立を目指して、多様な家庭環境などの現状をふまえた総合的な支援策の推進を図ります。	ひとり親家庭などの生活の安定と自立を目指して、多様な家庭環境などの現状をふまえ、必要に応じた総合的な支援策の推進を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	児童扶養手当の支給、ひとり親家庭等医療費の助成のほか、自立支援として、資格取得のための給付金の支給やローワークと連携した就労支援を行った。
	5	53151	家庭児童相談・婦人相談事業などを通じて、問題の早期発見やきめ細やかな対応を図ります。	家庭における適正な児童の養育その他家庭児童福祉の向上及び女性相談窓口の周知を図るため、民生委員児童委員等の説明会や広報等により相談体制の充実を努める。	8. 評価不能	評価不能の理由	各機関への説明会を行い相談窓口の周知は拡充されつつあるものの、相談事業における相談件数の数値目標や相談終結(解決)の基準の設定が困難である。
		53152	家庭だけでなく、保育所や学校、地域社会においても、子育てのための環境整備を推進します。	地域子育て支援拠点を中心に、保育所や学校なども連携を図りながら、子育て環境の整備に努める。	2. 概ね達成	状況の説明	26年度から地域子育て支援センターを1か所増設し、市内6か所で運営を行っている。うち2か所の支援センターには、子育てコーディネーターを配置し、子育てに関する相談等の総合窓口を設置した。
	1	53211	障がいのある方や家族が抱える相談に対応するため、有明圏域での相談支援事業や手話通訳者の設置を引き続き実施します。	既に着手している。障がいのある人やその家族の悩みや相談に対処し、障害のある方の暮らしを支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	障がいのある人やその保護者、介護者などの相談に対応し、必要な情報提供を行った。又市役所ロビーにおいて、週1回手話通訳の設置を行い、円滑にコミュニケーションを図ることができた。
	2	53221	各種福祉制度の適正な運用を図るため、『広報たまたま』による周知や窓口照会への対応を徹底して実施します。	必要な福祉制度の情報を提供し、障がいのある人やその家族の暮らしを支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	各種福祉制度の適正な運用を図るため、『広報たまたま』による周知や窓口での各種サービスの案内チラシ等を提供している。
	3	53231	心身の発達に遅れや障がいあり、継続的な療育が必要な子どもや家族に対して、子どもの年齢に応じた総合的な療育指導や助言を行う取組を推進します。	既に着手している。今後も早期発見早期療育を推進する。	2. 概ね達成	状況の説明	療育の申請があった子どもに対して利用がスムーズに進むよう事業所と連絡を密に行った。
		53232	乳幼児期の保育や教育に携わるスタッフへの継続的な支援体制の充実を努めます。	保育所などにおいても、発達障害や気になる子が増えており、心理相談員を配置し、保育所などへの巡回相談や研修会、講座等を行い、スタッフの資質向上と支援体制の充実を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	市内全保育所、幼稚園において子どものカンパレンスを通じた保育士のスキルアップを継続的に進めるとともに、全保育所を対象に子どもの支援、対処方法についての研修会を実施した結果、スタッフの発達障害や発達障害の疑いを持つ子どもに対する認識向上と支援への意識向上が見られた。
	4	53241	法律などに則った福祉サービスなどを提供しながら、今後も福祉の向上に努めます。	障がい者やその家族の生活を支援するために必要な福祉サービスを提供する。	2. 概ね達成	状況の説明	在宅の重度の身体及び知的障害児(者)が居る世帯に対し、自立促進、寝たきり防止及び介護者の負担軽減を図った。
		53242	障害者住宅改修事業などにより、住宅の確保や在宅生活での自立支援を実施するとともに、介護者の負担軽減を図ります。	65歳未満で、重度の身体障がい者等がいる世帯に対し、住宅改修に必要な経費を助成することにより在宅での自立を促すとともに、障がい者の寝たきり防止及び介護者の負担軽減を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	在宅障害者の自立促進、寝たきり防止及び介護者の負担軽減を図るため、申請のあった住宅改修について予算の範囲内で対応している。
		53251	障がい者に対する市民の理解を深め、障がい者の権利を擁護するための施策を果と連携して推進します。	障がい者に対して正しく理解し、健常者とともに共同社会を築く。また、障がい者の基本的な権利が守られるよう関係者と連携を図りながら推進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	成年後見人制度や権利擁護についての相談や啓発活動を実施している。
3 高齢者支援の充実	1	53311	介護を必要とする高齢者が適正な介護サービスを利用できるように介護保険制度の情報提供などを積極的に実施します。	包括支援センターやサービス事業者のケアマネージャと連携を図り、広報や高齢者の集いで事業の周知などに努め、高齢者の生活を支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	要介護認定や要支援認定を受けた高齢者に対して、介護サービス計画、介護予防サービス計画(ケアプラン)をたてるために必要な居宅介護支援事業者等の情報提供を行っている。また、制度改正に向け、お知らせを送付し利用者への周知を行う。
	2	53321	清掃活動、独居老人宅訪問、神楽などの伝統行事への参加などの地域貢献活動を実施する老人会は、補助金の支給により支援します。	老人クラブは地域貢献活動を中心に地域のために活動している団体であるため、補助金の支給を含め支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	90件の単位老人クラブに各クラブの活動費として補助金を支給を行っている。また、市老人クラブ連合会にも『ふれあいアンテナヘルプ事業推進』や『健康づくり推進』等の全体活動のため、補助金支給により支援を行っている。(平成27年度決算額12,404千円)
		53322	個々の高齢者の経験や特技などを生かした就労の機会を提供するシルバー人材センターは、補助金の支給により支援します。	高齢者の雇用機会を拡大するためのシルバー人材センターへ補助金を支給し、センター運営の安定化を図る。もって、高齢者雇用の充実を支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	シルバー人材センターの運営安定のため、事業補助金を支給し支援を行った。(平成27年度予算及び決算額: 19,000千円)
	3	53331	介護の必要がない高齢者には、高齢者福祉事業などによる様々な高齢者福祉サービスを提供します。	高齢者の生活や介護の悩み・相談に対処し、適切なサービスの提供に努め、高齢者の生活を支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	高齢者が生活するうえで、必要なサービスを包括支援センターやサービス事業者のケアマネージャと検討しながら提供。また、市のサービスの内容の周知を包括支援センター主催のケアマネージャの会議等で行っている。
4 地域で支え合う体制の充実	1	53411	市の社会福祉協議会や民生委員・児童委員などにより地域による見守り体制と市の連携を進めます。	高齢者だけ(65歳以上)の世帯の情報提供。	1. 達成(完了)	状況の説明	民生委員・児童委員が高齢者への見守り活動を行えるよう65歳以上の世帯の情報を提供している。達成済み。
		53412	災害時要援護者に対する支援では、災害に支援を求める高齢者や障がい者などの実態把握、関係各種団体との連携や調整に努めます。	民生委員・児童委員に五名市災害時要援護者避難支援計画(個別計画)票を配布し、実態把握に努める。	2. 概ね達成	状況の説明	要援護者に災害時要援護者避難支援計画に登録してもらうために民生委員・児童委員が地域で推進計画を継続し実施している。概ね達成している。
	2	53421	深刻な社会問題として近年急増している児童虐待やドメスティック・バイオレンスを防止します。	要保護児童対策及びDV防止対策等地域協議会による関係機関の連携を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	要保護児童対策及びDV防止対策等地域協議会の構成団体間における連携の必要性について意識向上が見られ、問題解決に向けた相互協力が見られる。
		53422	高齢者の虐待を防止するとともに、様々な人権問題の解決に適切に対応するため、関係機関や地域社会と連携して総合的な取組を実施します。	地域包括支援センター及び、介護保険サービス事業所・関係機関等との連携の強化により、虐待の防止と問題解決に向けた支援の構築を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	高齢者虐待については、複雑かつ重篤な事案が増加。包括支援センターをはじめ、各医療機関、各介護事業所との総合的かつ包括的連携の取り組みが必要不可欠であった。問題解決に向けた取り組みが図られている。
		53423	障がい者などの虐待を防止するとともに、様々な人権問題の解決に適切に対応するため、関係機関や地域社会と連携して総合的な取組を実施します。	障害者虐待防止法や熊本県障害のある人もない人もともに生きる熊本づくり条例を踏まえ、差別をなくし人権に尊重した地域をつくる。	2. 概ね達成	状況の説明	人権問題等の相談に対し、関係者や事業所と連携し、対応を行った。
		53424	様々な人権問題の解決に適切に対応するため、関係機関や地域社会と連携して総合的な取組を実施します。	様々な人権問題を常に把握し対応するために、熊本市町村人権啓発推進協議会や法務局、人権擁護委員など連携を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	熊本市町村人権啓発推進協議会に加盟し、研修会に参加し、連携を図った。また、法務局・人権擁護委員との連携のためくまもと県北人権啓発活動地域ネットワーク協議会五名分科会に参加し情報の共有を図った。

後期基本計画に掲載されている事項			平成28年度調査事項 (H27年度末の状況)						
4 社会保険の充実	1 介護保険事業の充実	3	53431	有償ボランティアによる移送サービスは、関係団体との調整を実施し充実に努めます。	道路運送法及び道路運送法施行規則等の規定の範囲内で、NPO法人、社会福祉法人等運送主体の充ちもめ充実を図る。	1. 達成 (完了)	状況の説明	現在、NPO法人1社が運送事業を実施している。有償運送サービスの向上に力をいれており、初期の目的は達成したものと評価した。	
		6 ユニバーサルデザインの推進	1	53511	すべての施策を展開する基本的な視点としてユニバーサルデザインの考え方を踏まえます。	年齢や障がいの有無に関わらず、最初からできるだけの人が利用可能できるようにデザインしていただけるよう啓発活動をおこなう。	2. 概ね達成	状況の説明	広報等を通じて啓発活動を行った。関係各課や地域の団体等と連携しながら推進する。
				53512	関係が深い障がい者団体などからの参考意見を取り入れながら今後ともユニバーサルデザインを推進していきます。	多機能トイレ、使い勝手が良い自動販売機など年齢や障がいの有無に関わらず、だれもがさりげなく使えるユニバーサルデザインの推進を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	広報等を通じて啓発活動を行った。関係各課や地域の団体等と連携しながら推進する。
				54111	高齢者のニーズに合わせて、地域密着型サービスなどの介護サービスの充実を図ります。	平成26年4月に地域密着型小規模多機能型居宅介護施設を1施設開設予定。平成27年度以降は、今後策定する第6期介護保険事業計画で高齢者等のニーズに合わせて計画する。	2. 概ね達成	状況の説明	平成27年3月に策定した第6期介護保険事業計画により、施設の整備にとりくむ。
				54121	地域支援事業(任意事業)などの充実を図ります。	高齢者の生活や介護の悩み・相談に処し、適切なサービスの提供に努め、高齢者の生活を支援する。	2. 概ね達成	状況の説明	包括支援センターやサービス事業所のケアマネージャーと連携し、広報や高齢者の集いで事業の説明に努めている。
				54131	居宅サービスや施設サービスなどの介護サービスや介護予防サービスを提供します。	要介護認定や要支援認定を受けた高齢者に対し、適宜、きめ細かな居宅サービスや施設サービスなどの介護サービスや介護予防サービスを提供する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	施設サービスの入所待機者状況について施設と連携しながら情報提供してもらい調査を行っている。
				54141	「いきいきふれあい活動」や「介護予防体操」などの一次予防事業を実施し努めます。	平成24年度末で、「いきいきふれあい活動」183カ所、「介護予防体操」193カ所を実施。26年度までの第5期介護保険事業計画の目標をすでに達成している。行政区299地区のうち、地区公民館がない所もあるが、平成27年度以降は、今後策定する第6期介護保険事業計画で高齢者のニーズに合わせて計画する。	2. 概ね達成	状況の説明	平成27年度末で、「いきいきふれあい活動」109ヶ所、「介護予防体操教室」85ヶ所を実施。介護予防拠点整備事業を利用して5ヶ所を整備し、より多くの地区で1次予防事業を推進している。
				54142	虚弱な高齢者を対象に通所や訪問型の運動・口腔等機能改善のための二次予防事業を実施し介護予防に努めます。	参加者の機能向上のためのプログラムの実施により、できる限り要介護状態に陥らないよう努める。平成27年度以降は、今後策定する第6期介護保険事業計画で高齢者のニーズに合わせて計画する。	2. 概ね達成	状況の説明	特とく教室(通所型運動機能向上プログラム)を市内3カ所で月4回11ヶ月実施。(1人あたり4ヶ月間16日)参加者130名。運動器項目の改善率50%。生活機能項目改善率83%。教室修了者に対し、社会参加継続のため地域の1次予防事業紹介や、月1回6月の「おさらい会」を実施し99名の参加あり。
				54151	地域包括支援センターの機能強化と充実に努めます。	包括支援センターの機能強化を充実し、連携強化を図り、高齢者の生活の悩みや介護に関する問題解決に努める。	2. 概ね達成	状況の説明	包括支援センターとの連携により、高齢者の生活・介護に関する問題解決を図った。今後は、高齢者の増加に伴い包括支援センターの職員の機能強化・配置整備を図っていく。
		2 国民健康保険事業などの健全運営		1	54211	医療費抑制のため、ジェネリック医薬品の推進、被保険者の健康医療に対する意識の高揚などを図ります。	ジェネリック医薬品差額通知書の送付及びジェネリック医薬品使用希望カードの配布により、ジェネリック医薬品の使用を促し医療費の抑制に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明
2	54221			受診率向上の取組を講じ、(国民健康)保険事業の推進を図ります。	特定健康診査の受診率を平成25年度40%、平成26年度45%、平成27年度50%、28年度55%と定め、申込方法等を見直し、受診動員の強化に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	特定健康診査H27年度受診率は36%であり、目標受診率には及ばないが、年々上昇しており、更なる受診動員に努めることが必要。	
	54222			保健師などによる健診事後指導を充実させ、(国民健康)保険事業の推進を図ります。	特定保健指導の実施率を平成25年度35%、平成26年度40%、平成27年度45%、平成28年度50%と定め、健診後の指導の充実を図り、早期治療、重症化予防に努める。	3. 進行中(後半)	状況の説明	特定保健指導のH27年度実施率は70.1%であり、早期治療、重症化予防、健診受診率の向上に向け保健師などによる保健指導を更に充実させることが必要。	
3	54231			後期高齢者医療制度の円滑な事業運営を図るため、制度の周知に努めます。	毎月年齢到達者に対し制度説明会を開催し、制度内容を広報誌掲載やホームページ更新する。	2. 概ね達成	状況の説明	毎年度、約900人、毎月75人程度の後期高齢者被保険者が誕生されるが、誕生日前月に3会場において、保険料、給付関係を中心に図やパンフレットを使い制度説明会を開催した。	
4	54241			玉名市国民健康保険税滞納対策事業実施要綱により、短期被保険者証や資格証明書を発行し、また、被保険者との接触の機会確保に努めるなどして収納率の向上を図ります。	短期被保険者証や資格証明書発行時に税務課に取り次いでもらい、滞納者との接触の機会確保に努め、収納率の向上を図る。	1. 達成 (完了)	状況の説明	短期被保険者証や資格証明書発行時に税務課に取り次いでもらい、滞納者と接触し、納付相談等を行い、収納率向上に努めており、達成しているものと判断した。	
3 国民年金制度の啓発	1	54311	年金制度の理解を深めるための情報提供や相談体制を充実し、制度の普及啓発を進めることで、対象者への適正な完全適用を目指します。	年金制度について更なる周知を図るため、広報誌掲載やホームページの更新をおこなう。また、ねんきんネットを活用した相談体制を充実させる。	1. 達成 (完了)	状況の説明	年金制度について更なる周知を図るため、広報誌掲載やホームページの更新をおこなう。また、ねんきんネットを活用した相談体制を充実させた。		
4 低所得者福祉の充実	1	54411	要保護世帯の援助や自立支援を推進するため、庁内関係課や関係機関と連携した相談や援助・指導体制の充実に努めます。	特に庁外の関係機関、玉名公共職業安定所や玉名市社会福祉協議会等と連携を図り、要保護世帯の自立を促進する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	・平成27年4月から生活困窮者自立支援法が施行された。生活困窮者が生活保護に陥ることの無いよう、生活支援係と連携し対応にあたる。・特に就労移動域の年齢層(18～65歳)に対しては健康に問題なければ、就労の支援指導を行う。・生活保護は他方・他施策優先になるので、年金、生命保険、資産等を有効活用する。・リーマンショック後に保護の申請が急増したものの、近年減少傾向にあったが、平成27年度は増加に転じた。・マスコミで報じられる「無縁社会」は生活保護で対応し得られる。・親・兄弟姉妹も縁がなく、年金も無いという単身者が保護に陥りやすい。・マイナンバーが始まると事務負担軽減につながるかもしれないが、まだ未知数である。		
5 大学を活かしたまちづくり	1 大学公開講座の活用	1	55111	九州看護福祉大学をはじめ包括協定大学での公開講座の積極的な活用します。	関係各課において、包括協定を結んでいる九州看護福祉大学、崇城大学、熊本県立大学の公開講座を活用する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	毎年、九州看護福祉大学と人権啓発課で事業共催により、公開講座を実施している。	
			55112	大学講師を招いた市民ニーズに合った各種講演会などを開催します。	関係各課において、包括協定を結んでいる九州看護福祉大学、崇城大学、熊本県立大学をはじめとする大学講師を招いた市民ニーズに沿った各種講演会などを必要に応じて開催する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	包括協定大学との連携を生かして、関係各課から講演会や研修会などへの講師派遣を要請している。	
	2 大学施設の利用	1	55211	図書館、体育館、グラウンドなどの(九州看護福祉)大学施設の市民活用について、引き続き推進するよう要望していきます。	九州看護福祉大学に対して、市民のニーズに沿った大学施設の利用が円滑に図られるよう、必用に応じて大学に要望する。	6. 未着手	理由	九州看護福祉大学施設については、各種団体や事業所及び個人が直接申請し、利用されていることから、市から大学への働きかけ等は行っていない。	

後期基本計画に掲載されている事柄		平成28年度調査事項 (H27年度末の状況)							
3	交流事業の推進	1	55311	玉名の歴史、文化、観光などの地域資源を活用した市民と学生の交流事業を推進します。	玉名の地域資源を活用した市民と学生の交流事業を推進する。また、本市と九州看護福祉大学との連携協力に資するため大学への職員派遣を実施する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成27年度から産官学連携による「こくほ運動実践講座」に取り組むなど、市民との交流や地域貢献が図られている。また、平成27年度も引き続き、大学への職員派遣を実施している。	
			55321	保健師学生の地域看護実習や市保健師の現任教員などを通じて互いに連携し、保健師や保健サービスの質向上を図ります。	保健師学生の地域看護実習及び現任教員等の研修会等を通じ、保健師スキル向上と保健事業のあり方や方向性を見直し検討する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	九州看護福祉大学看護科学生実習を受け入れ、教諭や学生と意見交換を行った。現任教員及び地域活動を通じ、九州看護福祉大学との連携によりスタッフの質の向上を図った。	
			55322	行政と九州看護福祉大学の連携事業として実施していた健康フェアは、本来の住民への健康・食育に関する啓発の場とするため、今後、内容検討を重ね、より多くの市民に有効な健康づくりを図ります。	より多くの市民が参加し、意識を高める健康・食育フェアとするため、内容・場所・啓発方法等検討する。	2. 概ね達成	状況の説明	「第2次玉名市食育推進計画」に基づき「食」をテーマにしたイベントを開催し、九州看護福祉大学の鍼灸スポーツ学科、口腔保健学科の協力もあり、多数の来場者があり、効果的な食育啓発事業の実施になった。	
6	みんなで進める協働のまちづくり	1	市民協働の推進	61111	市民参加や市民協働の推進に関する指針や条例などの制定を検討します。	市民参加や市民協働を推進するための条例等を整備し、実現に向けた施策展開を図る。	2. 概ね達成	状況の説明	12名で構成する自治基本条例検討委員会を立ち上げ5回の会議を行い、十分な議論を重ね自治基本条例(案)を策定した。今後は平成28年9月議会に提案する。
				61112	市民の市政に対する意見や要望を把握するため、市長との意見交換を行う場の確保を図ります。	市長との意見交換の場を設け、単年度ごとに計画し、実施を検討する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	平成27年度は市長と語るう産談会の開催はなかったが、市民と行政との直接話し合う場は必要である。
				61121	地域自治体を単位として地域協議会などを通じて協働のまちづくりを目指します。	協働のまちづくりの"よりどころ"となる指針等を策定し、実現に向けた施策展開を図る。	4. 進行中(前半)	状況の説明	自治基本条例の検討過程において、協働のまちづくりが整理されつつあり、指針等の策定の検討は進んでいない。なお、地域自治体の廃止に伴い、地域協議会が平成27年度末で廃止された。
				61211	新たな公共を担うNPOやボランティア団体などの市民公益活動を応援するため、「市民活動情報サイト『たまりん』」の活用を促進します。	「たまりん」の活用を促すとともに、各団体による情報発信件数を150件/年以上とする。また、「たまりん」へアクセスした件数は1500件/年以上を目標にする。	4. 進行中(前半)	状況の説明	「たまりん」を活用した情報発信件数は304件であり目標に達したが、また「たまりん」へのアクセスは10,004件であり目標を下回った。
				61212	市民公益活動を応援するため、助成金制度の創設や公共施設の空きスペースを活用した市民活動センターの設置などの支援を検討します。	市民活動団体の意向を把握した上で、市民活動支援の拠点を設置する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	市民の公益活動を応援するために創設した「キラリかがやけ玉名づくり応援事業補助金」を運用した。市民活動センター設置に関しては、市民活動団体の意向調査も含め進捗は無かった。
		2	市民公益活動の支援	61221	玉名21の星事業も含め、コミュニティ活動、地域づくり活動に対する支援のあり方を検討します。	玉名21の星事業の事業主体である各校区のまちづくり委員会も含めた市民活動団体について、市民福祉の向上に資する分野を中心に財政的支援制度の創設を検討する。	1. 達成(完了)	状況の説明	13の市民活動団体に「キラリかがやけ玉名づくり応援事業補助金」を含わせて、2,433,336円交付し、公益活動を支援した。
				61222	地域内住民と関係団体がともに活動する校区コミュニティ協議会(仮称)を設置についても検討します。	「校区コミュニティ協議会」設置に向けて、市役所内の関係課と協議調整を行う。	4. 進行中(前半)	状況の説明	自治基本条例の検討委員会における協議の結果、同条例に「地域コミュニティ」の章を置き、市民、行政、議会の三者の努力義務を条文化する方向になった。「校区コミュニティ協議会」に関しては、市内関係課との協議を含め具体的な事務は行わなかった。
				61223	コミュニティづくりの拠点づくりとして既存施設の活用を推進します。	市民活動団体の意向を把握した上で市民活動支援の拠点を設置する方向で検討を進める際には、既存施設を優先して活用する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	市民活動団体から「活動拠点の整備」について相談が寄せられたが、具体的な検討に着手するには至っていない。
				61231	薬草に関する情報発信や普及活動を積極的に実施する市民団体を支援します。	小岱山薬草の会をはじめ、上古岡室探査委員会等の薬草を利活用した地域づくりを支援することで、商品開発等を促進し、独自性ある情報を全国に発信する。	4. 進行中(前半)	状況の説明	地域おこし協力隊を配置し、小岱山薬草の会と連携は図りながら、イベントや広報紙面、公民館講座等を通じて住民への薬草の普及や内外への情報発信を行った。また、嵐山漁村の活性化に資する優れた活動を紹介する「第2回テイスカバ農山漁村の宝」(農林水産省主催)に選定され、国により全国に向けて薬草の会の活動が発信された。
				62111	地域や学校、家庭、職場などあらゆる分野において、各組織と協働し、人権啓発の推進に努めます。	今後も毎年度、市内の小中学校を中心に法務局、人権擁護委員と連携し、「人権の花運動」を実施する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	玉名町小学校において法務局、人権擁護委員と連携し実施。花の種とメッセージを風船に付けて飛ばすときは、近所の住民等も参加。
2	人権啓発の推進	1	人権啓発活動の充実	62112	国、県や人権擁護委員など関係機関との連携を強化し、『玉名市人権教育・啓発基本計画』の推進と迅速且つ的確な対応ができるような相談体制の充実を図ります。	「玉名市人権教育・啓発基本計画」に則した市民の人権問題解決のための意識の向上を図ったり、人権問題があった場合、すぐに解決できるように法務局や人権擁護委員、市内関係課とすぐ対応できるような体制をとる	3. 進行中(後半)	状況の説明	「玉名市人権教育・啓発基本計画」に沿ってその推進をしている。相談体制においては、相談内容を確認し法務局へ依頼したり、3ヶ月に1回開催される人権相談を紹介した。
				62121	人権啓発活動の充実を目指して、市の広報紙やホームページなどを通じた啓発に努めます。	市のホームページに各人権課題に即した構成をして掲載し、また、人権問題解決のための内容を広報紙に掲載する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	市のホームページに人権問題(子どもや女性、障がい者など個別の事案に対する啓発)を掲載。ほかに法務局や県からの啓発に関する事案や3ヶ月に1回行う人権相談を広報たまにに掲載。
				62131	人権問題への積極的な関心や態度、的確な技能などが日常生活の中で実践できるような啓発を推進します。	企業や地域において、人権問題に関心をもったもらい、人権問題解決のためのビデオを貸し出し、要望に応じて啓発講座等を開催する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	企業内の従業員に対して、人権問題に関する理解を深めるための講義等を、県や関係市と連携して実施。
				62141	毎年12月4日～10日までの「人権週間」の期間中においては、より一層市民への啓発を図ります。	人権週間期間中の1日間、市内の要所において街頭啓発を行う。また、期間中啓発用の横断幕を設置する。	3. 進行中(後半)	状況の説明	12月1日に、午前10時から午後3時まで人権相談を実施後、草枕温泉でんすい、ゆとりーむ、ふれあいセンター、玉名駅において啓発のためのチラシ等を配布。他に人権週間期間中市役所横に横断幕を掲げる。
				63111	男女共同参画社会推進事業に関わる研修、相談業務、交流活動をはじめ、専門性の高い学習機会を提供します。	九州看護福祉大学との共催による講座の開催、県主催「男女共同参画地域リーダー研修」参加の推進。	3. 進行中(後半)	状況の説明	九州看護福祉大学との共催による講座を2回実施。県主催「男女共同参画地域リーダー研修」へ2名派遣。
3	男女共同参画社会の推進	1	男女共同参画社会の形成	63121	各種審議会などへの女性委員の登用を推進し、毎年女性登用状況調査と結果を公表します。	平成24年度末に策定した「第2次玉名市男女共同参画計画」に則して、平成29年度末までに女性委員の登用35%を目指す。	3. 進行中(後半)	状況の説明	今年度末の女性委員等の登用率は21.8%であり、目標値へ近づくとより更なる啓発が必要。
				63131	『玉名市女性人材リスト』の作成と積極的活用を図ります。	玉名市に在住する女性の人材の発掘と各種審議会等への人材情報の提供を図る。	3. 進行中(後半)	状況の説明	女性人材リスト登録者は19名。各種委員選任の際、リストの活用を図った。

後期基本計画に掲載されている事柄			平成28年度調査事項 (H27年度末の状況)								
4	情報公開の推進	1	情報公開の充実	64111	インターネットによる議会映像の放映を推進します。	市民の市政への参加意識を高め、また、議会をより身近なものとする。インターネットによる議会映像の放映を実施する。	1. 達成 (完了)	未着手の理由	本会議の議会映像のインターネット放映をH19年度から行っており達成している。		
				64121	情報公開請求には素早い対応を図ります。	公文書が容易に把握できるような仕組みを構築し、また、情報公開事務の画一的な運用を図るために職員研修を実施する。	5. 着手	状況の説明	保存文書台帳を作成し、各課において公文書の保存状況を把握できるようにした。また、平成27年度に入庁した新人職員に対し、情報公開事務についての研修を実施した。		
				64131	議事検索システムの構築により、事務の効率化を図ります。	使いやすく解りやすい議事検索システムの構築により、事務の効率化を図る。	1. 達成 (完了)	未着手の理由	平成24年2月から庁内LANによる議事録検索システムにバージョンアップし、事務の効率化図っており達成済みです。		
		2	男女共同参画センターの開設	63211	男女共同参画社会推進のための機能的な拠点施設を確保します。(男女共同参画センターの開設を除く。)	庁舎移転に伴い、拠点施設の位置や規模等について平成28年度末までに具体的な検討を行う。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	場所、規模等の検討を行い、外の施設との複合も視野に入れて検討中。		
				63212	男女共同参画センターの開設を目指します。	平成29年度末までに男女共同参画センターを開設する。	6. 未着手	未着手の理由	旧庁舎跡地利用や他の公共施設の見直しについての方針決定後、着手予定。		
		5	個人情報保護対策の強化	1	64211	個人情報の収集や利用にあたっては、利用目的を明確に説明するとともに、原則として、本人からの事前の同意を得ることとします。	個人情報については、住民票・戸籍の発行や住民異動などは原則として本人申請となっています。未申請が可能な場合には本人からの委任状の提出を求めていきます。また、委任状による代理人の確認も常に行なっています。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	運転免許証、旅券(パスポート)、マイナンバーカード(個人番号カード)、住民基本台帳カード(顔写真のあるもの)、身体障害者手帳、療育手帳、在留カードなどの官公署発行の写真付証明書(1点の提示で本人確認できる書類)による本人確認を行っています。また、以下の書類(2点を組み合わせて提示していただくことで本人確認できる書類)による本人確認も行っています。A.健康保険の被保険者証、介護保険の被保険者証、共済組合員証、国民年金手帳、各種年金証書、恩給証書、生活保護受給者証、住民基本台帳カード(顔写真のないもの) B.学生証、法人が発行した写真付の身分証明書など(A+AまたはA+Bの組み合わせになります。)	
						64221	個人情報保護を更に推進するために、適切な取り扱いを徹底し、個人情報保護意識を強化します。	個人情報保護事務の画一的な運用を図るために職員研修を実施する。	5. 着手	状況の説明	平成27年度に入庁した新人職員に対し、個人情報保護事務についての研修を実施した。
				3	行政情報発信の充実	64311	広報紙は、行政情報だけでなく地域の話題なども盛り込むように努め、市の情報発信力を高めます。	現在の毎月2回、1日と15日号の広報紙を発行している。しかし市民への簡潔で確実な行政情報を市民へ提供し、情報集約化を行うため、月1回(1日号)の発行を目指し、さらに市民へわかりやすく工夫を凝らした広報紙を作成する。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	平成27年度から月1回発行に変更した。月1回になってもこれまで以上に紙面に充実させ情報発信に寄与する。
						64321	ホームページは、効果的かつ利便性を重視した情報発信を推進します。	総務省のホームページのガイドラインをふまえてつづき、さらには工夫をこらし、ホームページへの100万アクセス数を超えるよう努める。また平成27年のホームページリニューアルに伴い、市内外からの閲覧者に対してさらに魅力ある情報発信となるよう作成する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	総務省のガイドラインに準じてホームページを作成し、平成27年度は前年の市庁舎の成果を修めた。平成27年度のホームページアクセス数は約191万を超え予想を上回った。
						64322	記事を作成する職員の意識と技術の向上に努めます。	ホームページの記事作成に関する基礎研修などを、毎年、ホームページ委託業者を講師に迎え、関係職員の研修を行う。	3. 進行中 (後半)	状況の説明	平成27年8月に4回に分けてホームページの記事作成に関する基礎研修を行った。また、ホームページ閲覧者の約60%がスマートフォンであることを説明した。
5	行政財政運営の効率化	1	健全な財政の運営	65111	自主財源の一層の確保を図り、行政評価制度と予算編成を連動させることにより予算の適正な執行と事務事業の見直しを実施します。	計画期間中(平成24～平成28年度)財政構造の改善を行い、財政健全化を推進する。 【目標の設定】 経常収支比率:各年度90%以下	2. 概ね達成	状況の説明	義務的経費が容易に削減できない状況の中、事務事業の見直しにより経常的経費の削減を実施している。 経常収支比率:27年度は7月確定見込(参考)H25年度 89.2%、H26年度 89.9%		
				65112	中長期的な展望に立った施策の推進に取り組み健全な財政の運営を図ります。	計画期間中(平成24～平成28年度)長期財政見通しを作成し、普通建設事業の計画的な実施など中長期的な展望に立った財政運営を行う。 【目標の設定】 長期財政見通しの作成:各年度更新	2. 概ね達成	状況の説明	普通建設事業の計画的な実施など中長期的な展望に立った財政運営を行うため、平成27年11月に長期財政見通しを更新した。		
				65113	基金を計画的に運用し健全な財政の運営を図ります。	計画期間中(平成24～平成28年度)基金の計画的な運用を行い、財政健全化を推進する。 【数値目標の設定】 財政調整基金残高が標準財政規模に占める割合:各年度20%以上	2. 概ね達成	状況の説明	将来の財源不足に対応するため、取崩し額を最小限に抑えるとともに、可能な限り積立てを行い、計画的な基金運用を今後も継続していく。		
		2	行政経営の推進	65211	総合支所から支所への移行を検討し、住民にわかりやすい本庁と支所組織の機能のあり方を検証します。	平成24年10月に総合支所から支所に移行し、従前の行政サービスの水準が低下しない機能性や効率性等の面を十分に検討した組織へと再編する。また、本庁と支所間の事務事務の適切な分掌を行なうとともに、財政見直し計画で定める職員の削減数を着実に達成する。	1. 達成 (完了)	状況の説明	合併以降、段階的に3支所の組織機構をスリム化するとともに職員数削減及び所掌事務の本庁移行を行いながら、合併から7年が経過する平成24年10月には総合支所から支所に組織機構を移行した。なお本庁への業務移行や民間委託導入等により所掌業務及び職員数は合併時と比較し8割程度の減となった。		

後期基本計画に掲載されている事項		平成28年度調査事項 (H27年度末の状況)				
2	65221	行政評価の効果的な活用のため、事務事業の成果を客観的に検証することにより経営意識の向上を図ります。	昨年度の試行運用を経て24年度から本格運用し、評価の対象とされる全ての事務事業について、事後評価を実施する。事前評価は、従前のとおり、事業費下限額を上回る全ての事務事業を対象に実施する。更に職員の経営意識を向上するために、市民意識調査等の外部評価の導入を検討する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 平成25年度に市民3千人を対象としたアンケート調査 (市民満足度及び重要調査) を導入し、また平成27年度には、市民や有識者等の第三者委員で構成する外部評価委員会の設置やホームページ上で評価結果の公表など効果的な行政運営や客観性や透明性が高い行政評価制度を構築してきた。	
	65231	職員は、採用後の一定期間に幅広く各行政分野を経験させます。	計画期間中も、これまで同様、入庁後ある程度の期間までは、基本的に3年を一つのサイクルとして人事異動を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 概ね3年を目標に人事異動を行っている。	
	65232	県などとの人事交流を進めるなど計画的な人事配置や人材育成を実施します。	他の自治体や団体への派遣や人事交流を推進する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 人事交流や派遣は毎年コンスタントに行っている。	
	65241	電子入札の導入に取り組みます。	電子入札の導入は、システム導入の経費と業者への導入調査結果などを十分に検討したうえで、平成27年4月をめどに導入する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 すべての工事及び工事関係業務委託の指名競争入札事務を電子入札システムを利用して行えるようになった。	
	65242	価格のみでなく技術力も考慮して落札業者を決定する総合評価方式の実施に努めます。	公共工事の品質確保を図るために価格のみでなく技術力も考慮して落札業者を決定する総合評価方式を対象案件がある場合に適宜実施する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 環境配慮、景観調和、長寿命化、住宅近接施工など、総合評価方式を活用し、民間からの技術提案を求めることで、施工の効率化とコスト削減につながるような工事の案件はなかった。	
	3 職員の計画的な人事配置と育成	65311	合併後の10年間は、退職者数の3分の1を新規採用しながら、定員の適正化を図ります。	職員の新規採用は、平成28年4月までは、退職者数の3分の1とする。	1. 達成 (完了)	状況の説明 目標数値であった平成28年4月1日の職員数504名に対し、実績値501名となった。
		65321	『人材育成基本方針』に基づき、引き続き職員の能力開発を積極的に推進します。	職場内研修の推進と職場外研修の充実を図り、自己啓発への支援を行う。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 職場外研修を充実させており、結果として間接的に職場内研修の推進や自己啓発の意欲向上に繋がっている。
		65322	人事評価の結果を適材適所の人事配置や公正な処遇につなげることで、職員の意欲向上と個々の能力・組織力の向上を図ります。	人事評価の結果を職員の公正な処遇や意欲向上につなげるために、結果の活用方法について引き続き検討する。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 人事評価は平成24年度から本格実施しており、平成28年度から昇任の要素として活用する。
		65323	住民ニーズ、政策課題、職員構成などの変化に柔軟に対応するため、適宜、効果的職員研修を実施します。	階層別の基礎研修や選択研修など、今後も研修全般に注力し、内容の充実を図る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 研修事業は新任研修を熊本県市町村職員研修協議会に委ね、当市では現任研修を行うこととしているため、飛躍的に対象者数が増加している。
	4 行政施設の整備と有効活用	65411	財政的に有利な合併特例債の適用期限である平成27年度までの完成を目標に新庁舎の建設を推進します。	平成25年度は庁舎本体の建築工事に着手し、敷地の造成工事を行う。平成26年度は、12月までに本体工事・外構工事を完了し、平成27年1月の新庁舎での移転開庁を行う。	1. 達成 (完了)	状況の説明 平成27年1月5日から業務を開始しているため、達成完了とする。
65412		本庁舎の跡地は、これまでの検討結果を参考にし、有効な利活用策を検討します。	関係部署職員で構成する庁内検討組織を24年度中に設置し、約1年の検討期間を設け、効果的、効果的で実効性が高い利活用策を市長に提案する。また、平成28年度には、玉名市本庁舎跡地等活用検討委員会を設置し、本庁舎跡地及び建物の有効活用についての活用の基本方針と具体的な活用策を市長の諮問に基づく答申を得る。	4. 進行中 (前半)	状況の説明 26年度に学識経験者や市民の代表など約勢15名で構成する「玉名市本庁舎跡地等活用検討委員会」からの答申を踏まえた基本構想を策定するため、庁内に部、課長で組織した玉名市本庁舎跡地等活用基本構想検討委員会を設置し、具体的な施設の機能や配置等について協議を行った。答申の内容に基づき「新たな賑わいを創出し」、「中心市街地の活性化」に資することを念頭に、人が集まる便利で賑わいのある市街地環境の維持を図るとともに、市民や来訪者の世代間交流や人的交流を促すと期待される「多世代交流機能」や「居住促進機能」を備える施設の整備を図るため、平成27年度に「玉名市本庁舎跡地等活用基本構想」を策定した。	
65421		各総合支所は、市民サークルやボランティア団体などが実施する事業の拠点施設として提供するなど、有効利用を図ります。	既存及び新庁舎完成によって生じる支所庁舎の余裕スペースは、公共施設の機能集約をはじめ公共団体の活動拠点として提供するなど利活用を進め、維持費の軽減や自主財源の確保を図る。具体的には、信明支所の空きスペースについて、新庁舎への機能移転 (平成27年1月)後、速やかに着手できるように調整する。	2. 概ね達成	状況の説明 信明支所の2階、3階において信明図書館及び有明広域行政事務組合事務所として利活用する旨、決定済。図書館は、H29年4月、広域事務所は同年1月オープン予定である。また、未利用財産として隔離病棟跡地 (信明地区) 1件の売却を行った。	
3	65431	『公共施設マネジメント白書』を作成します。	用途別に分類した市保有の公共施設 (約120施設) を対象に、各施設に関する実態を分析、評価し、課題や問題等を白書として、平成23年度末までに整理する。この白書を24年度に策定予定の適正配置計画の基礎資料として活用する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 将来人口の推計やハコモノ公共施設の更新コスト試算をはじめ、用途ごとに分類した施設の利用状況やコスト状況等の実態把握による分析・評価したマネジメント白書を平成23年度に策定した。	
	65432	平成24年度までに『公共施設配置計画』を策定し、適正な配置と整備を推進します。	今後の公共施設の適正配置を考えていく上での基本的な方向性についての検討組織である検討委員会を設置し、市に建議される内容を十分に踏まえた適正配置計画を24年度末までに策定する。	1. 達成 (完了)	状況の説明 平成24年度に外部委員で構成する適正配置計画検討委員会を設置し、マネジメント白書により実態を把握したハコモノ公共施設の質と量の最適化を図るための今後のマネジメント方針、また最適化に向けての削減目標や先導的モデル事業の設定など、検討委員会から市への建議を踏まえた公共施設適正配置計画を同年来に策定した。	